

医師会の組織強化に向けて

令和4年10月19日(水)

公益社団法人 日本医師会
常任理事 釜 范 敏



日本医師会への入会についての基本的な考え方

- 日本医師会は、医師個人の資格で加入する我が国唯一の医療界を代表する組織であり、**医師たる者には、全て医師会活動に参画してほしい**と考えています。
- 医療界が求める制度・政策等を実現するためには、その決定プロセスに深く関与する必要があり、**医師会を通じて医療界の意見等をその決定プロセスに反映させていくことが、現実的な方法**と考えます。
- 医療に関する制度・政策等は一旦決定すれば、それに全ての医師が縛られることとなります。また、一度決定したことを変更するのは、容易ではありません。
- そのため、全ての医師が**自分事して医師会活動に関心を持ち**、その活動に参画する中で、**医師会とともに医療現場が求める制度・政策等を実現していくことが必要**です。
- 医師会活動を自分事として認識してもらうためには、**まず医師会活動に参画してもらい、医師会内部からその活動を体験**してもらうことが、第一歩になると考えます。
- 臨床研修に専心している先生方には、**まず、医学部卒後5年間の会費減免期間の中で、医師会活動への理解を進めていただければ**、先生方の特段のご理解とご協力をお願いいたします。

本日の内容

Part1. 全国の都道府県医師会の入会率

Part2. 組織強化の必要性

Part3. 組織強化に向けた取り組み(依頼)

まとめ

参考. 日本医師会の主な会員サービス等

三層構造でみる医師会会員数



*東京都文京区
本駒込の日本医師会館



*平成15年文化人郵便切手
「北里柴三郎」より

郡市区等医師会 (890) (令和4年3月23日現在)

《うち、大学医師会 (65)、その他 (12)》

205,831人 (令和3年11月1日現在)

都道府県医師会 (47)

191,303人 (令和3年11月1日現在)

公益社団法人
日本医師会

日本の医師総数
(33万9,623人)の
うち**51.2%**が加入

日本医師会会員数

173,895人 (令和3.12.1現在)

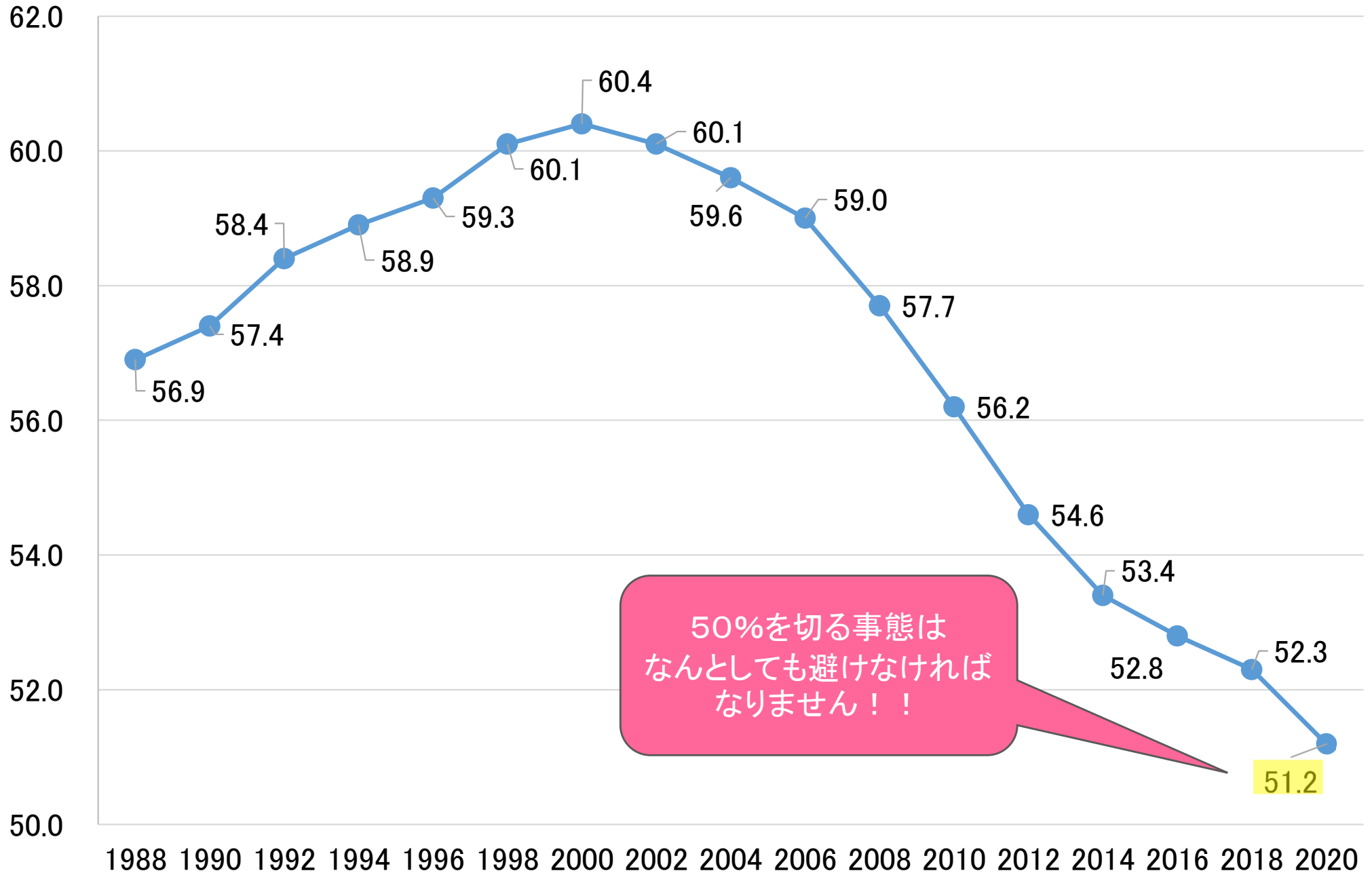
内 開業医 82,946人
勤務医他 90,949人

◆ 郡市区等医師会の会員で、
日本医師会に未加入の方は
約3万2千人。

◆ 都道府県医師会の会員で日
本医師会に未加入の方は約
1万7千人。

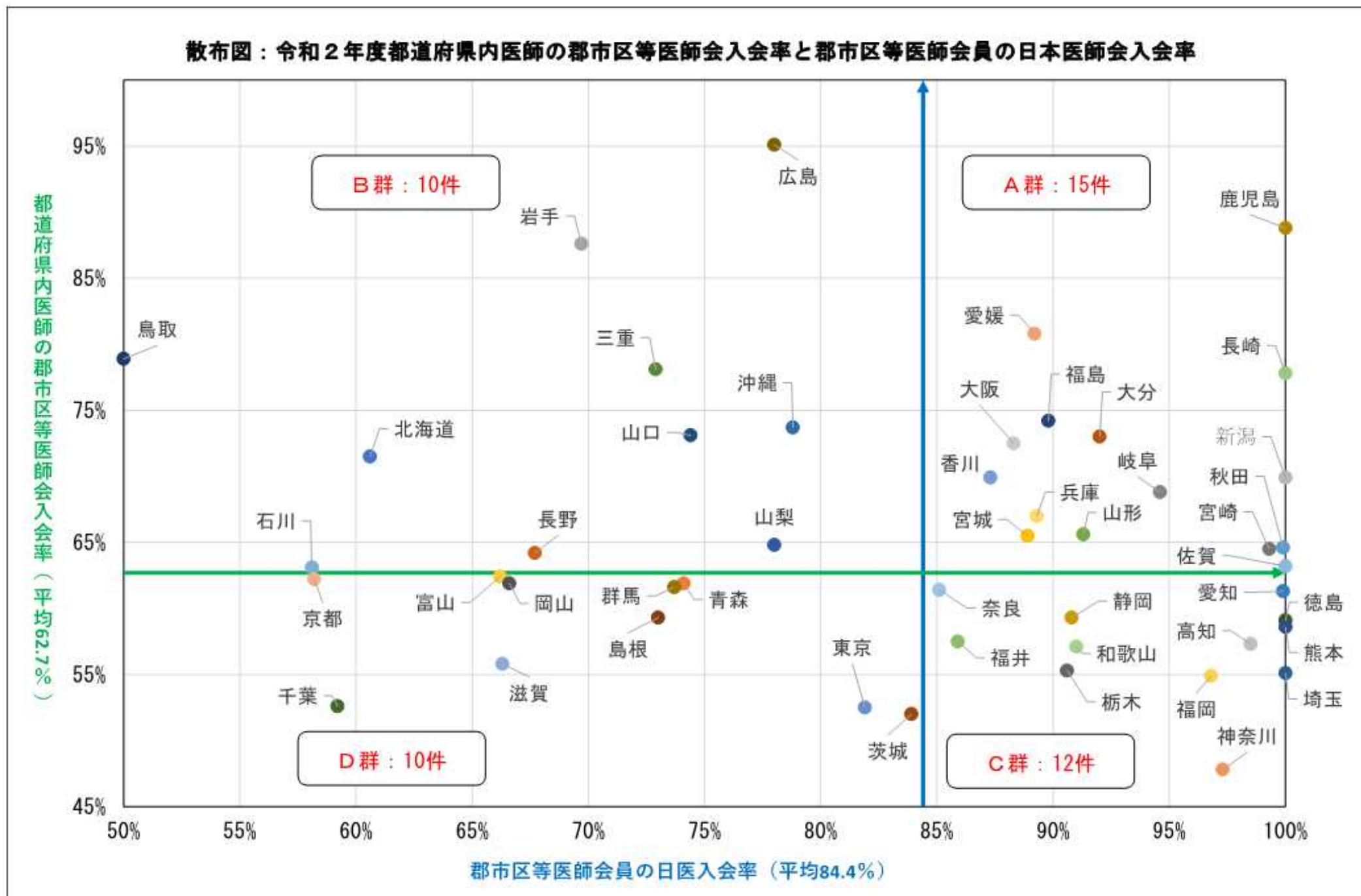
世界医師会に認められた、日本で唯一の
医師個人資格で加入する団体です。

日本医師会の組織率の推移



※日本医師会会員数調査、厚生労働省医師・歯科医師・薬剤師統計(調査)より作成

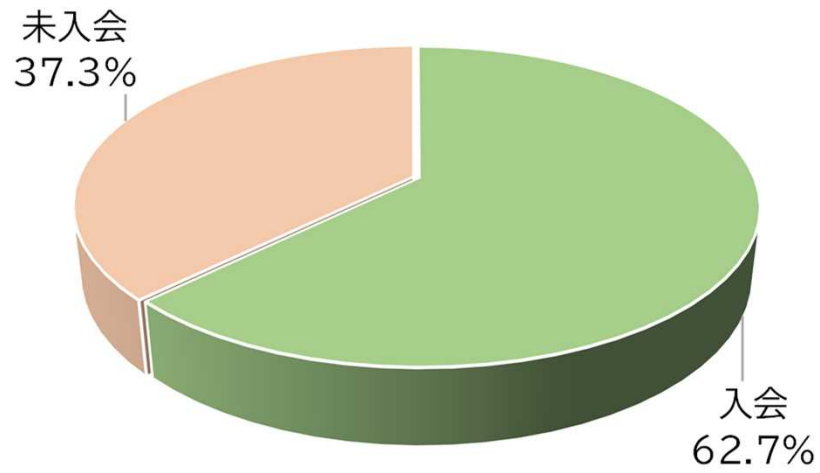
令和2年度県内医師の郡市区等医師会入会率・郡市区等医師会の日医入会率



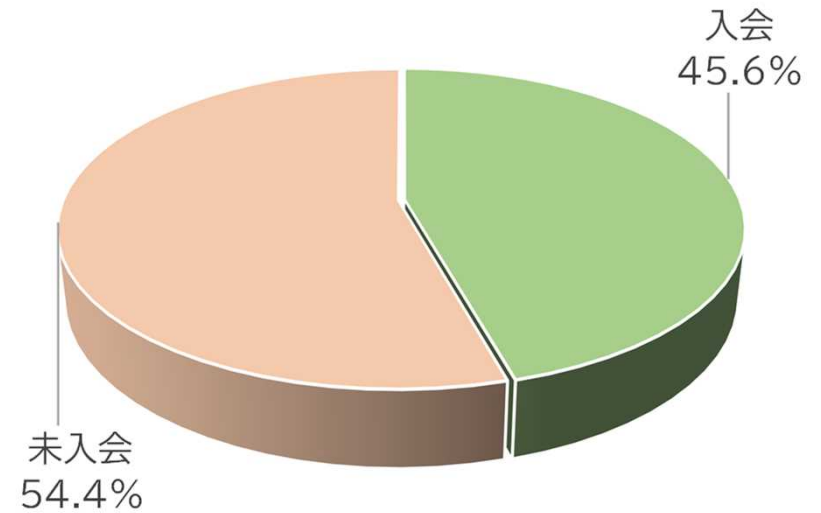
※令和2年度 都道府県別医師会入会率(日本医師会医師会組織強化検討委員会)

都道府県内医師の郡市区等医師会入会率(全国平均)

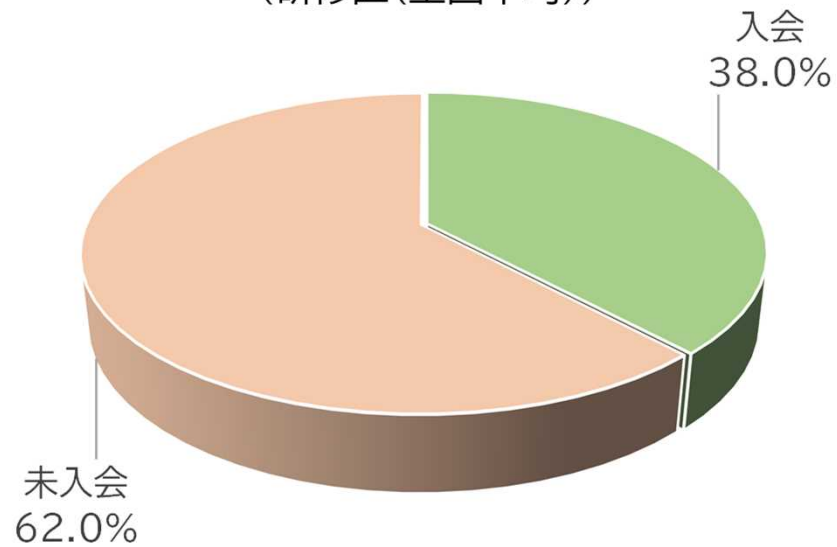
都道府県内医師の郡市区等医師会入会率
(総数(全国平均))



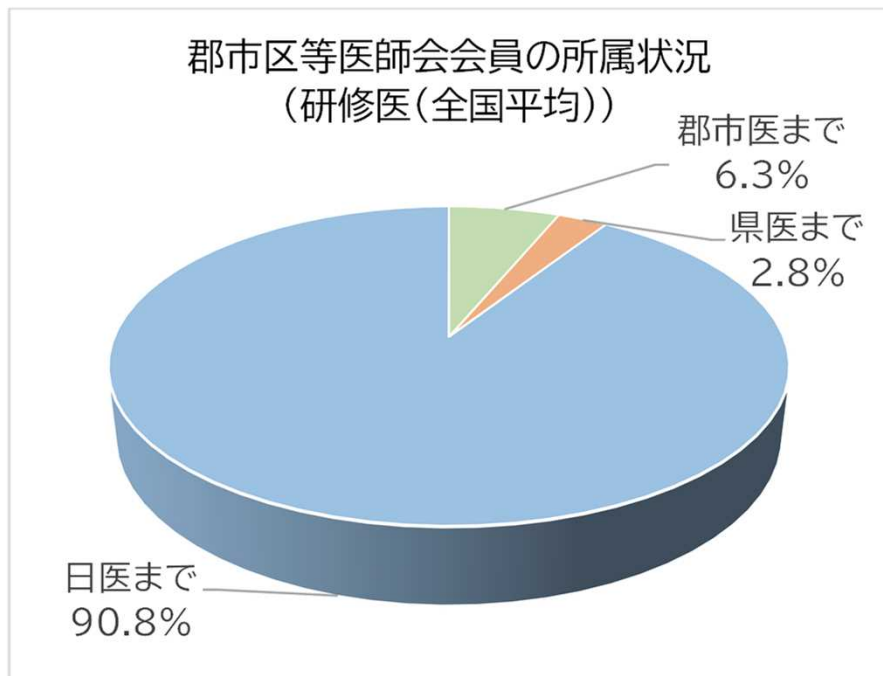
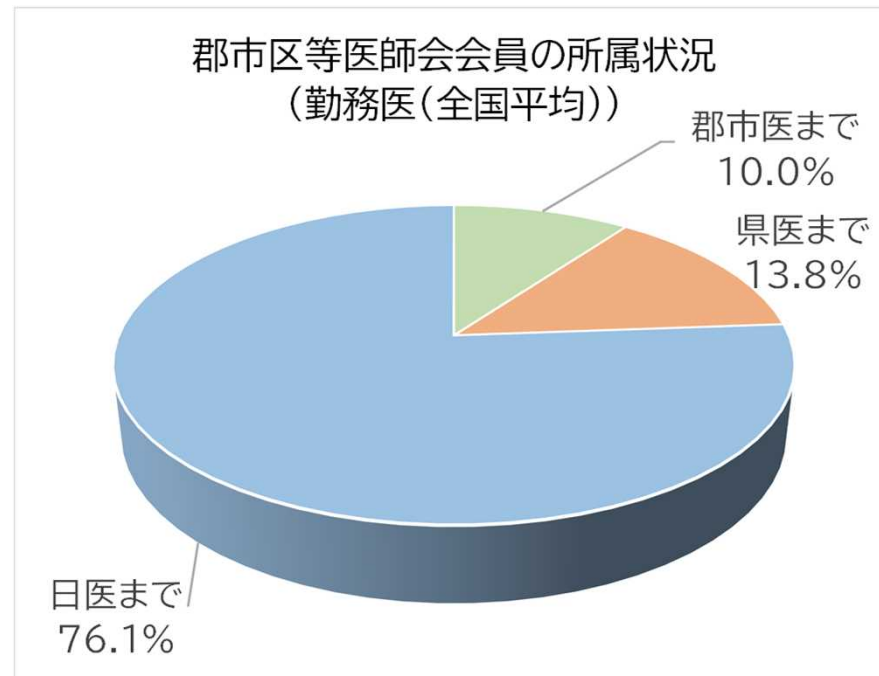
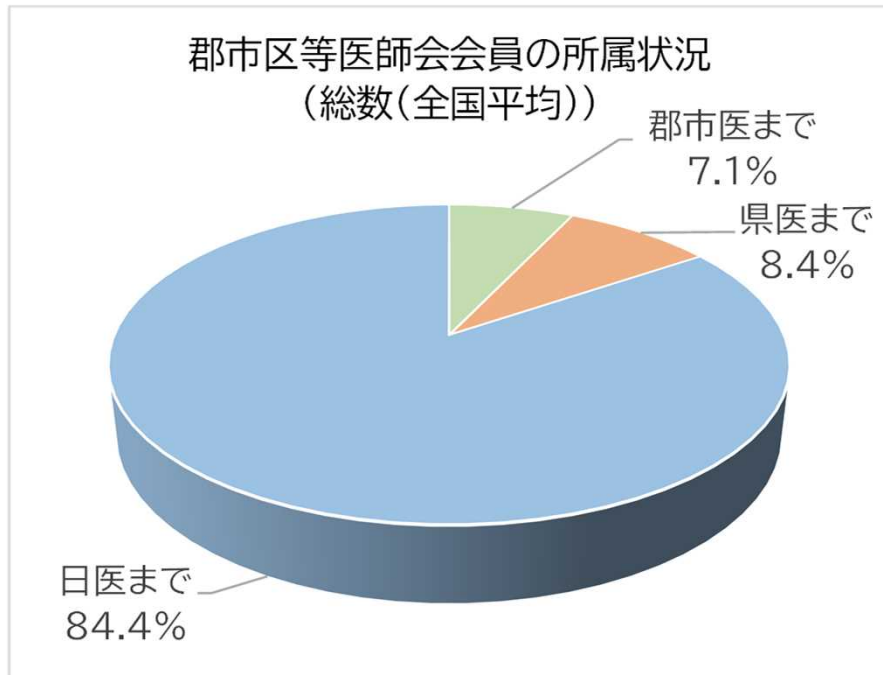
都道府県内医師の郡市区等医師会入会率
(勤務医(全国平均))



都道府県内医師の郡市区等医師会入会率
(研修医(全国平均))



郡市区等医師会会員の所属状況(全国平均)



全国の医師会における会員数推移

総数	三師統計結果を分母にした組織率							郡市区等医師会会員数を分母にした組織率	
	三師統計*	郡市区等医師会		都道府県医師会		日本医師会		都道府県医師会	日本医師会
		総数	組織率	総数	組織率	総数	組織率	組織率	組織率
H25**	303,268	193,132	63.6%	181,578	59.8%	165,785	54.6%	94.0%	85.8%
H29	319,480	200,400	62.7%	187,296	58.6%	169,959	53.1%	93.4%	84.8%
H30	319,480	201,320	63.0%	188,464	58.9%	171,106	53.5%	93.6%	84.9%
R1	327,210	204,185	62.4%	189,986	58.0%	172,708	52.7%	93.0%	84.5%
R2	327,210	205,207	62.7%	190,713	58.2%	173,384	52.9%	92.9%	84.4%

勤務医 ***	三師統計結果を分母にした組織率							郡市区等医師会会員数を分母にした組織率	
	三師統計*	郡市区等医師会		都道府県医師会		日本医師会		都道府県医師会	日本医師会
		勤務医	組織率	勤務医	組織率	勤務医	組織率	組織率	入会率
H29	240,394	109,025	45.3%	99,116	41.2%	82,167	34.1%	90.9%	75.3%
H30	240,394	110,498	45.9%	101,277	42.1%	84,878	35.3%	91.6%	76.8%
R1	248,219	112,819	45.4%	101,400	40.8%	85,944	34.6%	89.8%	76.1%
R2	248,219	113,219	45.6%	101,866	41.0%	86,255	34.7%	89.9%	76.1%

研修医	マッチング結果を分母にした組織率							郡市区等医師会会員数を分母にした組織率	
	マッチ者数 ****	郡市区等医師会		都道府県医師会		日本医師会		都道府県医師会	日本医師会
		研修医	組織率	研修医	組織率	研修医	組織率	組織率	組織率
H29	17,593	4,761	27.0%	4,709	26.7%	4,175	23.7%	98.9%	87.6%
H30	17,929	5,674	31.6%	5,548	30.9%	5,046	28.1%	97.7%	88.9%
R1	18,225	6,474	35.5%	6,099	33.4%	5,792	31.7%	94.2%	89.4%
R2	18,244	6,932	37.9%	6,504	35.6%	6,308	34.5%	93.8%	90.9%

*H25はH24、H29、H30はH28の三師調査結果。R1、R2はH30の三師統計結果

**日医医師会組織強化WG報告書等参照（あくまで参考値）

***三師統計総数－（病院・診療所・介護老人保健施設の開設者・代表者＋無職の者・不詳）

本日の内容

Part1. 全国の都道府県医師会の入会率

Part2. 組織強化の必要性

Part3. 組織強化に向けた取り組み(依頼)

まとめ

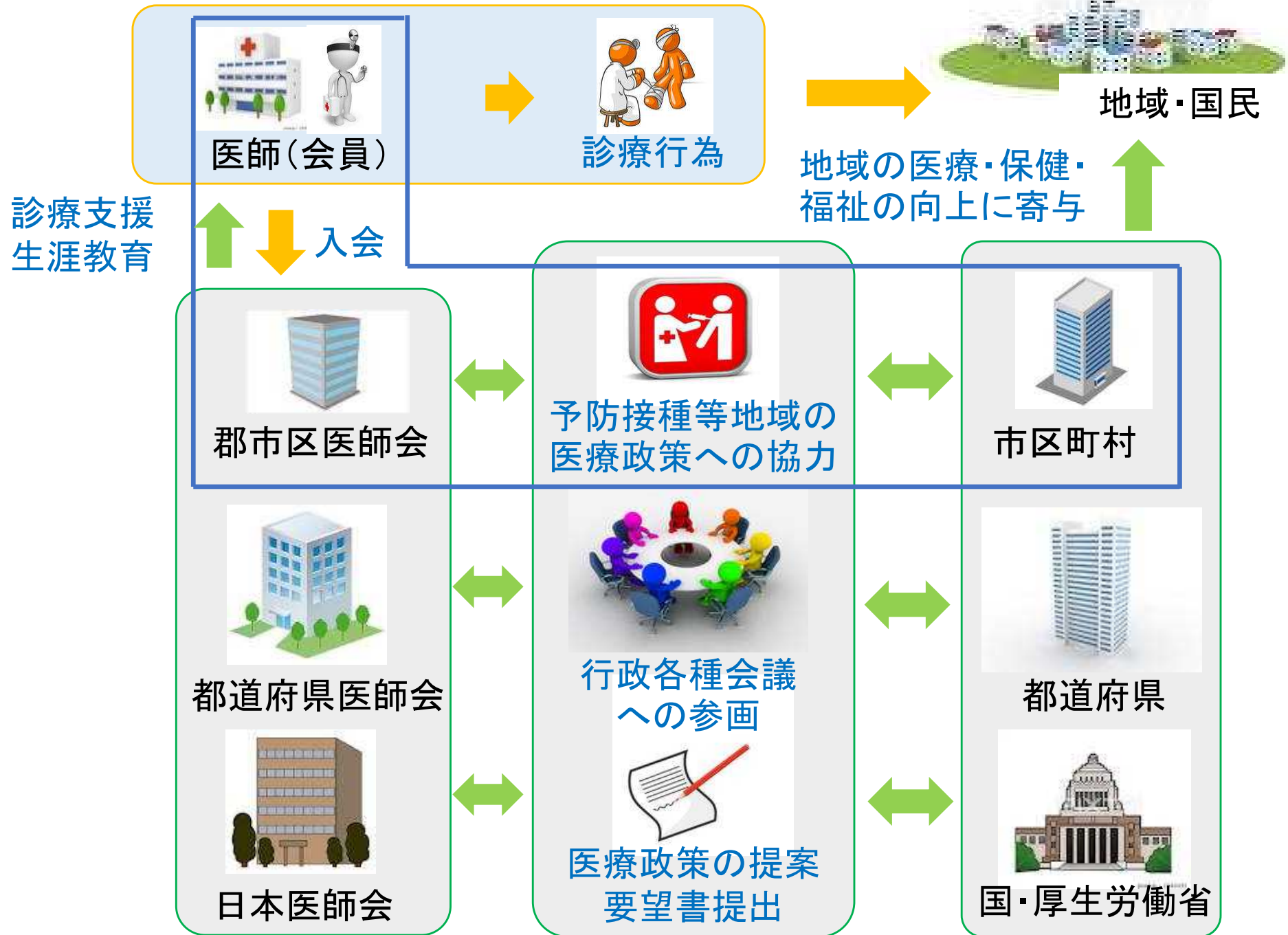
参考. 日本医師会の主な会員サービス等

医師会の役割

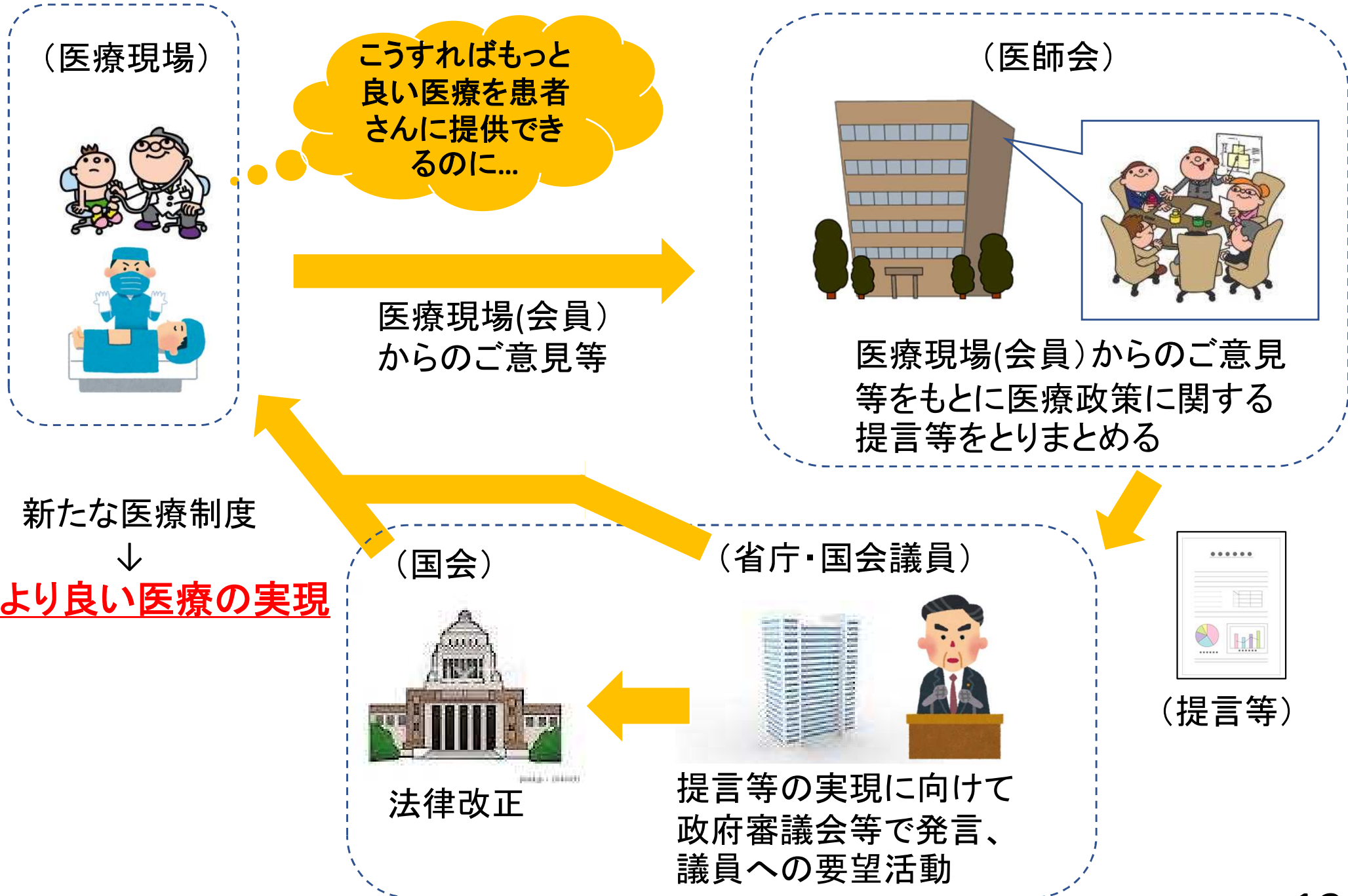
- ・国民の生命と健康を守る
- ・医師の医療活動を支える



行政のカウンターパートとしての医師会



医療政策が実現するまで（例）



本日の内容

Part1. 全国の都道府県医師会の入会率

Part2. 組織強化の必要性

Part3. 組織強化に向けた取り組み(依頼)

まとめ

参考. 日本医師会の主な会員サービス等

会費減免期間の延長の主な内容(令和5年度より実施)

1. 会費減免の延長期間

- ▶ 対象を臨床研修医から卒後5年目まで延長する。

2. 卒後5年間の基本的な捉え方

- ▶ 大学医学部の卒業年度を起点に、年度単位とする。

3. 対象となる会員区分

- ▶ すべての会員区分とする。

4. 会費減免の方法

- ▶ 会費賦課徴収規程の「その他特別の事由」による。

5. 会員サービス

- ▶ 『日医ニュース』及び『日医雑誌』の送付に代えて、「日医ホームページ」「日医Lib」で対応する。

医学部卒業5年目までの医師会員数(令和4年10月3日時点)

卒業年度	会員区分	会員数	年度合計
2018	A1	9	782
	A2(B)	538	
	A2(C)	15	
	B	204	
	C	16	
2019	A1	9	731
	A2(B)	510	
	A2(C)	25	
	B	147	
	C	40	
2020	A1	3	847
	A2(B)	511	
	A2(C)	100	
	B	128	
	C	105	
2021	A2(B)	1	3,281
	A2(C)	1,720	
	B	1	
	C	1,559	
2022	A2(C)	1,495	2,992
	B	1	
	C	1,496	
合計			9,361

卒後5年目までの会費減免(令和5年度より)

会員区分	会費	会費減免額	会費減免適用後
A①	126,000円	60,000円	66,000円
A②(B)(30歳超) (30歳以下)	68,000円	28,000円	40,000円
	39,000円	24,000円	15,000円
A②(C)	21,000円	6,000円	15,000円
B	28,000円	28,000円	無料
C	6,000円	6,000円	無料

<ご参考：会費区分>

A①	病院・診療所の開設者、管理者およびそれに準ずる会員
A②(B)	上記A①会員およびA②会員(C)以外の会員
A②(C)	医師法に基づく研修医
B	上記A②会員(B)のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員
C	上記A②会員(C)のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員

日本医師会医師賠償責任保険

	日本医師会医賠償	民間保険
医療紛争の検証	各科専門の医師 、医療知識を持った弁護士等で組織する 審査会 が判断	保険会社が判断
紛争処理の方法	医師会が弁護士の手配を代行	医師本人が対応、もしくは保険会社が弁護士を手配
会員の退会及び死亡後の特例措置	<ul style="list-style-type: none"> 医師会を退会後、あるいは死亡後でもサポートが受けられる 適用期間は10年間 	<ul style="list-style-type: none"> 左記のようなサポートのためには別途保険契約を結ぶ必要がある(年17,000円程度) 適用期間は5年間
保険料	会費に含まれる保険料相当額(年間) 15,000円(研修医) ~ 66,000円(開業医)	基本保険料(団体割引・年間) 40,664円程度(研修医) ~91,488円程度(有床診療所院長)



- 医師本人に代わって、**医師会が弁護士を手配し、迅速・適正な紛争解決をサポート**します！
- 保険料も、**各学会や大学同窓会と比較して安価**です！



会費減免期間の延長に伴う「入会金」等の取り扱いについて(依頼)



- 若手医師の医師会への入会を促進するためには、若手医師が費用面及び環境面の両側面から、入会しやすい環境を整備することが必要です。
- そのため、入会金の負担や入会時の煩雑な手続きの軽減について、ご検討・ご協力をお願いいたします。

1. 入会金の免除

- 入会金は、若手医師にとって大きな費用負担となります。
- 入会金を徴収している医師会におかれましては、まずは医学部卒業後5年目までの入会金の免除について、ご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。また、同様の取り組みを、管内郡市区等医師会にも実施していただくよう、周知をお願いいたします。

2. 入会時の煩雑な手続きの軽減

- 少なくとも、医学部卒業後5年目までの医師については、入会申込書が適切に提出された場合、その他特段の手続きを得ることなく、入会できるよう、管内郡市区等医師会への協力方について、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

3. 医療機関に属していない医師への対応

- 医療機関に属していないことを理由として、医師会への入会が認められない事例があるとの報告があります。医療機関への所属の有無は、郡市区等医師会にとって非常に大事なものと存じますが、特段のご配慮をお願いいたします。

臨床研修医及び専攻医の異動手続きについて

1. 問題意識

- 特に研修期間中の勤務医にとっては、病院の移動が多く、そのたびの医師会間の退会・入会手続きが非常に負担になっているとの意見が多くある。
- そのため、この負担を軽減するための方策を講じる必要がある。

2. 具体的な方策(案)

- 大学医師会に入会している会員で、当該大学所在地以外の地域の病院で研修等を行う場合、一定期間内に大学に戻ってくることが分かっているのであれば、異動手続き（入退会手続き）は要しないというような運用もご検討いただきたい。
- 臨床研修や専門研修のプログラムを選択した病院が所在する郡市区等医師会会員で、当該病院所在地以外の地域で研修等を行う場合、一定期間内に当該病院に戻ってくることが分かっているのであれば、異動手続き（入退会手続き）は要しないというような運用もご検討いただきたい。

来る来年度に向けて(喫緊の依頼)

1	医学部卒後5年目までの会費減免期間の延長について、その <u>実効性を高めるためには</u> 、 各地域医師会と足並みを揃えて実施することが不可欠 です。特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。
2	特に、来年3月から4月にかけて、 卒後2年目の臨床研修医の先生方に、3年目以降も医師会員として継続してもらえるよう 、各医師会におかれましては、特段のご協力をお願いいたします。
3	併せて、 卒後1年目の臨床研修医の先生方の入会(日本医師会まで) についても、一層のご協力をお願いいたします。

医師会組織強化検討委員会

- 8月2日開催の第13回常任理事会で、医師会組織強化検討委員会を発足。
- 令和5年1月中を目途に、中間の報告書を取りまとめる予定。

【参考】: 委員名簿

- | | | |
|---------|--------------------|--------|
| ◎伊在井みどり | (岐阜県医師会会長) | ◎=委員長 |
| ○猪口 正孝 | (東京都医師会副会長) | ○=副委員長 |
| 上田 博 | (石川県医師会副会長) | |
| 上林 雄史郎 | (和歌山県医師会副会長) | |
| 加納 康至 | (大阪府医師会副会長) | |
| 松崎 信夫 | (茨城県医師会副会長) | |
| 森永 幸二 | (佐賀県医師会副会長) | |
| 木村 剛 | (日本医科大学医師会会長) | |
| 田邊 晴山 | (救急振興財団 救急救命東京研修所) | |

担当役員 角田副会長、釜范常任理事(主)、渡辺常任理事、神村常任理事

組織強化に向けた取り組みのお願い

会費減免期間の延長について、ご検討・ご協力をいただきますとともに、次の三つの項目について、取り組んでいただきたいと思います。

- ① 組織強化に取り組むための仕組みづくり
- ② 三層すべての医師会への入会と、開業医については廃業後も医師会員として残ってもらうための取り組み
- ③ 会費減免と、会費減免終了後に医師会に残ってもらうための取り組み

継続的な組織強化に向けた取り組みのお願い①

(1) 組織率に係る
現状の把握と共有

医師等を把握・共有し、組織率向上に向けた目標を設定する。

＜日本医師会への提言＞

① 都道府県別医師会入会率資料の継続的な作成

＜都道府県医師会・郡市区等医師会に係る提言＞

② 都道府県内郡市区等医師会別入会率資料の作成

(2) 組織強化に継続して取り組むための体制づくり

上記で設定した目標達成に向けて、組織強化に継続して取り組んでいくための体制を整備し、組織率向上に向けた方策の実効性を高めていく。

＜都道府県医師会・郡市区等医師会に係る提言＞

① 組織強化担当理事・事務局の設置

② 郡市区等医師会組織強化担当役職員を対象とした協議会の開催

(3) 組織率向上に向けた具体的な方策

地域毎の入会率等に係る特徴・課題等に則した方策を講じる。その効果の検証は(1)の中で行う。

＜日本医師会への提言＞

① 入会勧誘ツールの更新とさらなる活用

② 都道府県医師会における成功事例の収集・共有と検証

③ 日本医師会未入会の医師会員解消に向けた地域医師会への働きかけの強化

④ 会費額・会費区分定義の見直しに向けた検討

⑤ 医師資格証のさらなる普及と活用の推進

⑥ 医師会入退会・異動手続きの簡素化に向けたさらなる検討の推進

⑦ 「医師会」というブランド力の向上

※ 効果の検証は
(1)の中で行う

医師会組織強化推進事業(医師会組織強化に向けたパイロット事業)

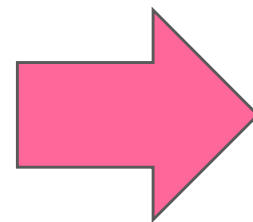
(1) 目的

都道府県医師会の協力の下、「郡市区等医師会組織強化担当役員連絡協議会」を開催していただくなかで、以下の成果を目指す。

- ① 協議会開催を契機に、**継続的に組織強化に取り組むための体制構築**(組織強化担当理事・事務局の設置等)の推進を図る。
- ② 管内郡市区等医師会毎の**組織率の特徴と課題等を共有するなかで**「顔の見える関係づくり」の端緒を開き、**県内すべての医師会による具体的方策の実現に向けた合意形成**を図る。

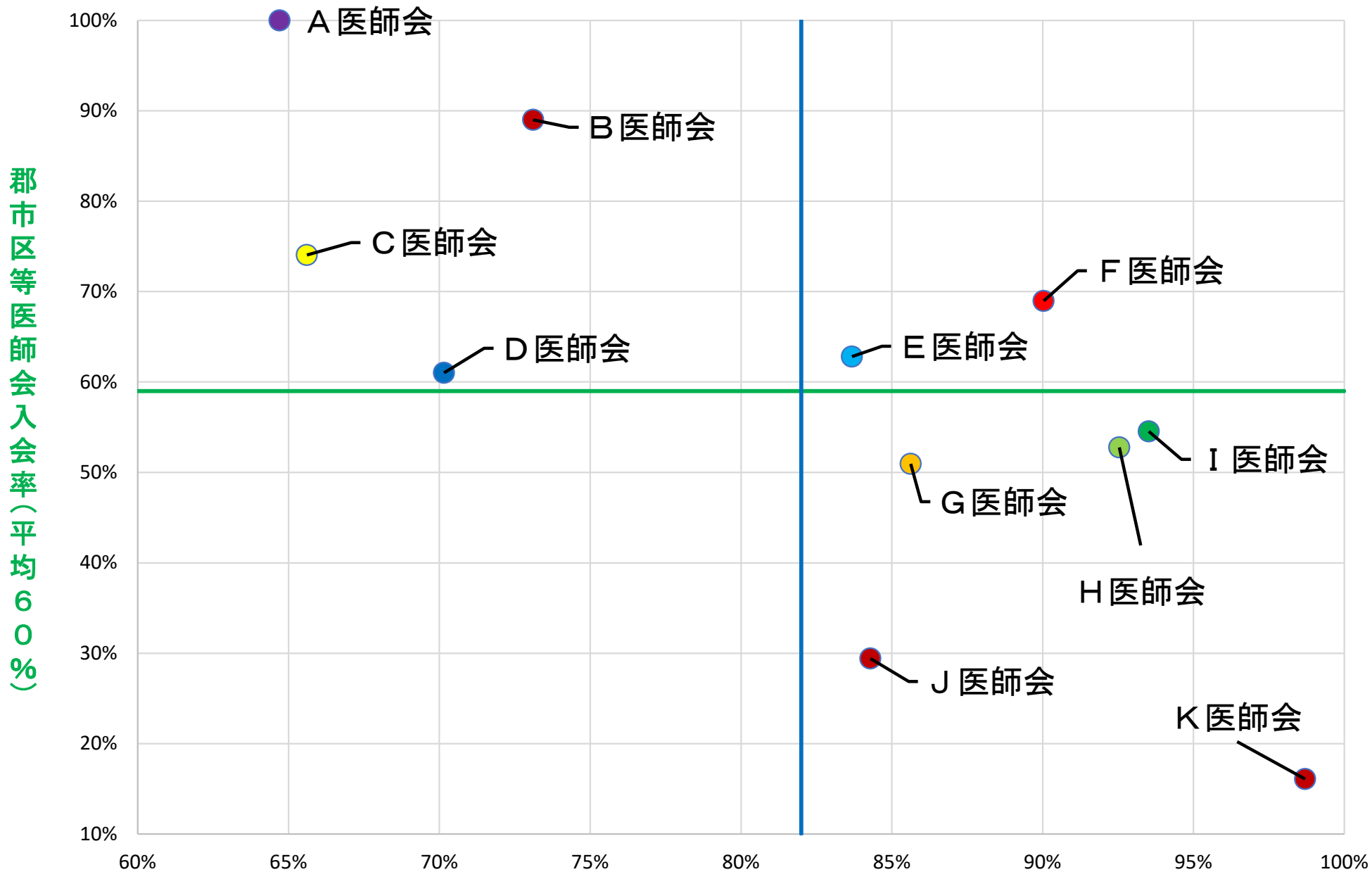
(2) 開催都道府県医師会

- ① 和歌山県医師会(2022年3月13日開催)
- ② 滋賀県医師会(4月14日開催)
- ③ 石川県医師会(5月12日開催)
- ④ 鳥取県医師会(5月22日開催)
- ⑤ 茨城県医師会(9月2日開催)
- ⑥ 岡山県医師会(9月23日開催)



- 各都道府県管内のすべての郡市区等医師会の会長及び事務局が**一堂に会して**実施。
- 日本医師会からは松本会長が現地にて出席。
- 各郡市区等医師会に、組織率等の受け止めなどについて発言していただく。

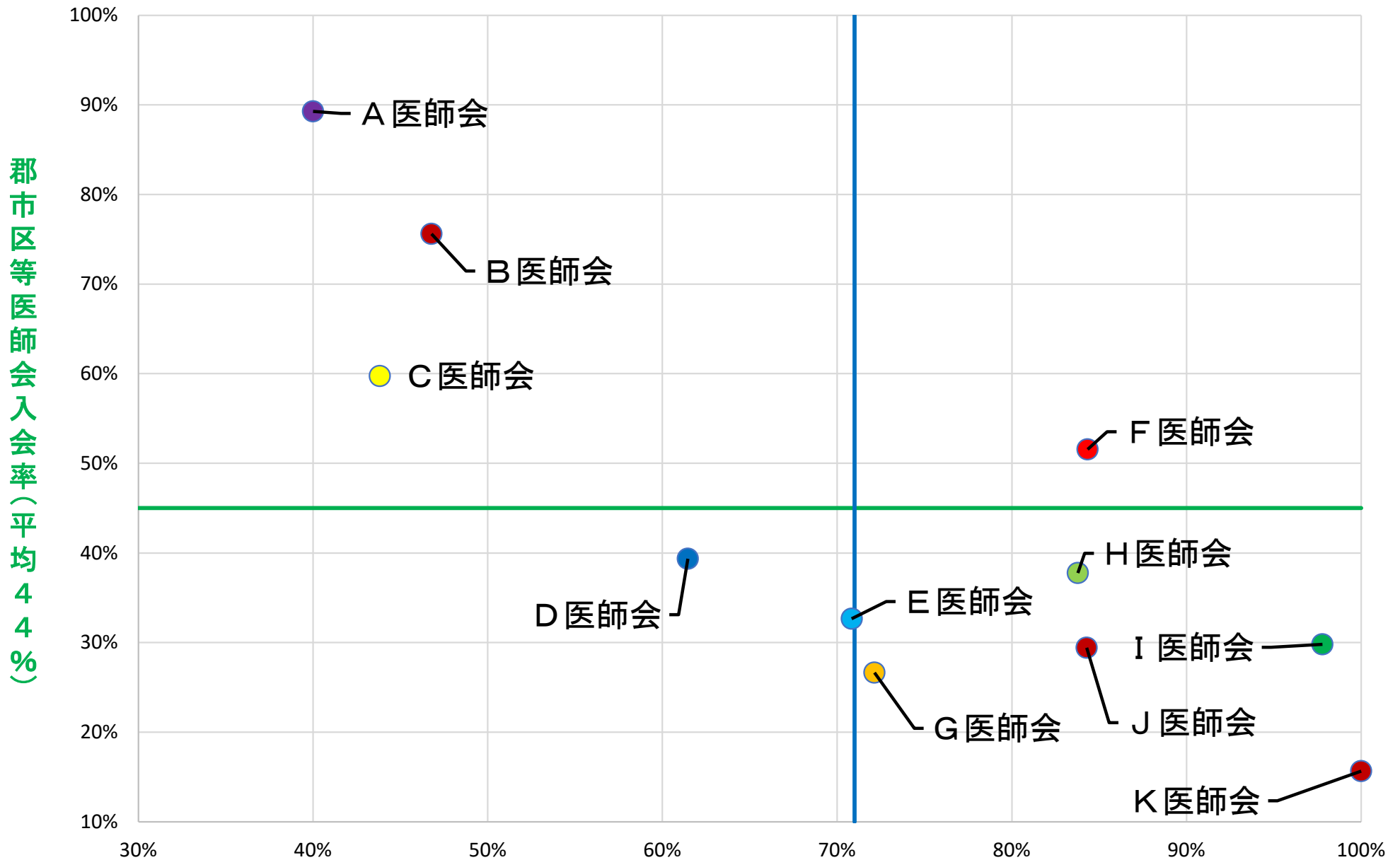
滋賀県内医師の郡市区等医師会入会率、郡市区等医師会会員の滋賀県医師会入会率 【総数】



郡市区等医師会会員の滋賀県医師会入会率 (平均 82%)

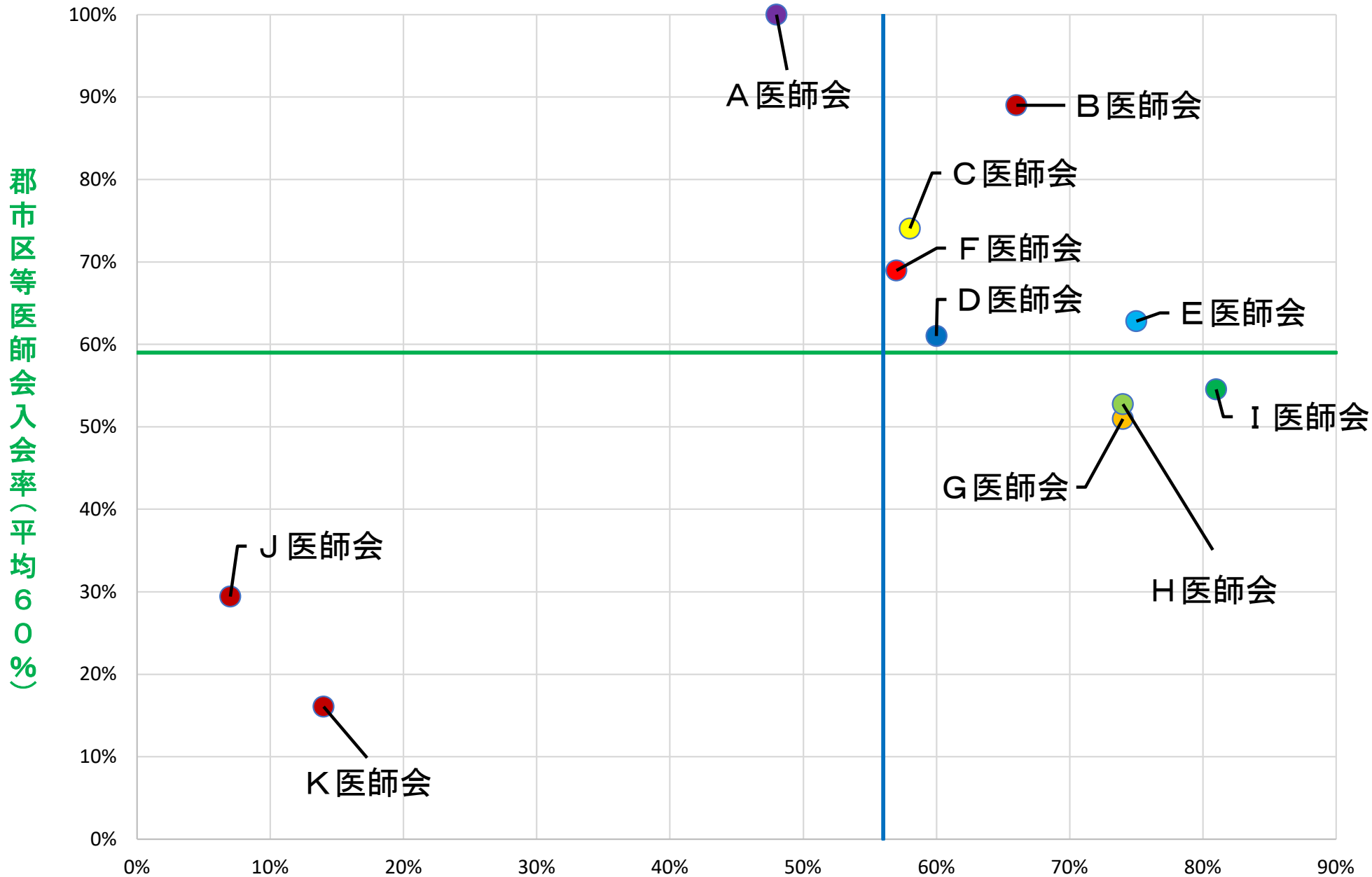
※滋賀県医師会作成資料より(一部改変)

滋賀県内医師の郡市区等医師会入会率、郡市区等医師会会員の滋賀県医師会入会率 【勤務医】



※滋賀県医師会作成資料より(一部改変)

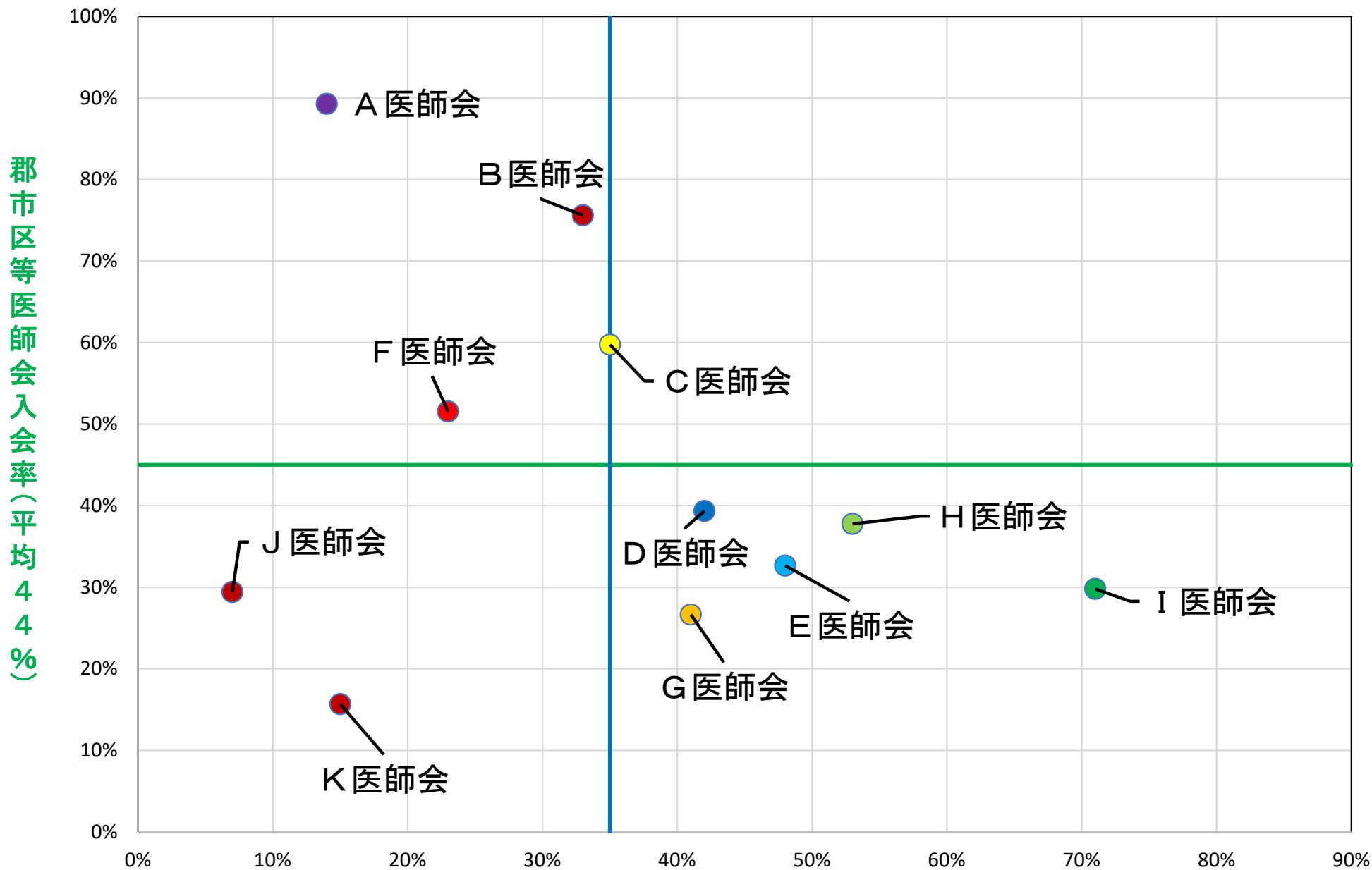
滋賀県内医師の郡市区等医師会入会率、郡市区等医師会会員の日本医師会入会率 【総数】



郡市区等医師会会員の日本医師会入会率 (平均56%)

※滋賀県医師会作成資料より(一部改変)

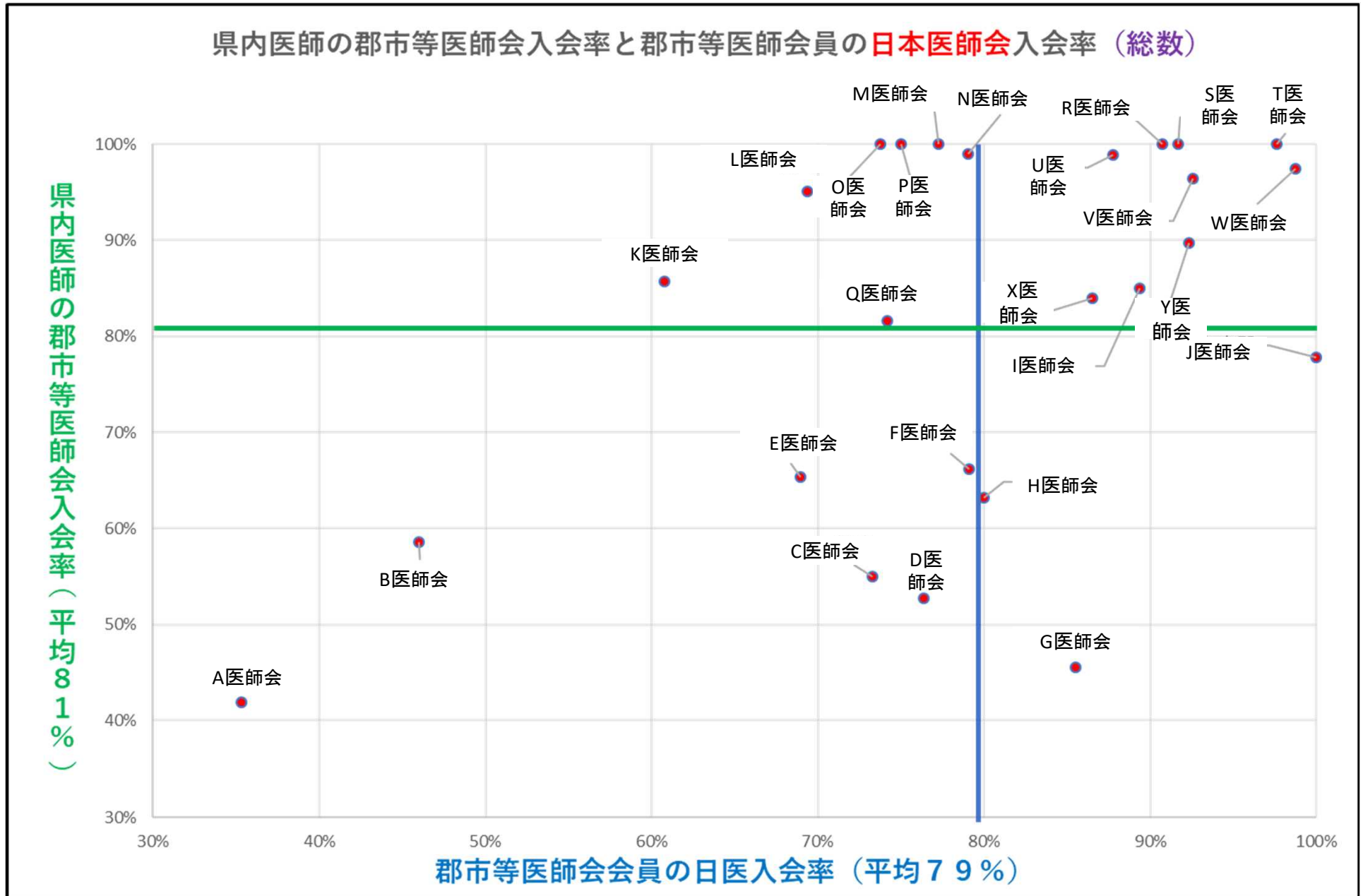
滋賀県内医師の郡市区等医師会入会率、郡市区等医師会会員の日本医師会入会率【勤務医】



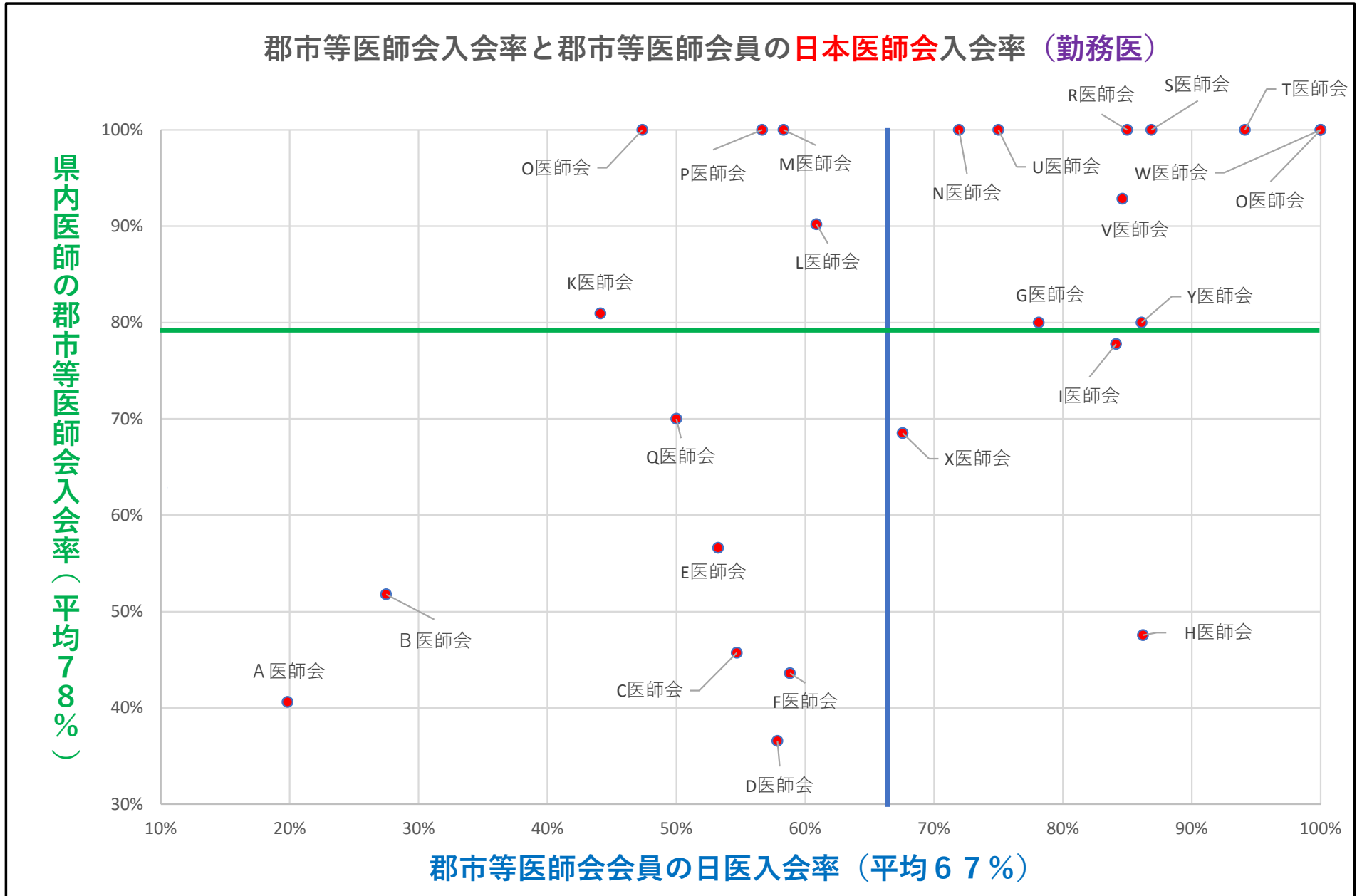
郡市区等医師会会員の日本医師会入会率 (平均35%)

※滋賀県医師会作成資料より(一部改変)

岡山県内郡市区等医師会別入会率(総数)



岡山県内郡市区等医師会別入会率(勤務医)



※岡山県医師会作成資料より(一部改変)

郡市区等医師会組織強化担当役員連絡協議会の次第(例)

- ① 開会・会長挨拶 [5分]
- ② 組織強化に向けた協力依頼(※日医担当役員より) [20分]
- ③ 自県内郡市区等医師会の組織率の現状(散布図等を用いて) [20分]
- ④ 今後の具体的方策に向けた協議(各郡市区等医師会からの発言等) [45分]
- ⑤ 閉 会

- 管内すべての郡市区等医師会会長(担当役員)及び事務局の出席のもとで、「郡市区等医師会組織強化担当役員連絡協議会」を開催いただきたい。
- その際には、可能な限り日本医師会より担当役員が出席したいと考えておりますので、ぜひお声がけいただきたい。

継続的な組織強化に向けた取り組みのお願い②ー1

① 郡市区等医師会入会者の日本医師会までの入会

【ご参考】

日本医師会定款・諸規程検討委員会が示した社員総会制を敷く郡市区等医師会の定款変更案(平成22年3月)

(会員の資格)

第6条 本会は<例:〇〇を区域とし、その区域内に就業所又は住居を有する医師のうち、本会の目的及び事業に賛同したものをもって会員とする>。

2 前項の会員をもつて一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「法人法」という。)上の社員とする。

3 会員は同時に<例:〇〇県医師会>及び日本医師会の会員となる。

継続的な組織強化に向けた取り組みのお願い②ー2

② 廃業した開業医への医師会会員資格継続に向けた取り組み

【ご参考：都道府県医師会における好事例】

（「医師会組織強化検討委員会「医師会組織強化に向けた取り組み等について」のアンケート；令和3年度実施）

1. 自宅会員などの区分を設け、会員資格を維持する方策を講じている。
2. 高齢を理由に廃業する会員が多いため、高齢減免の制度を提案している。
3. 日本医師会医師賠償責任保険の「廃業特則」を周知している。
4. 勤務医として医業を継続する場合は、日本医師会医師賠償責任保険に加入できることや、医師国保組合などについても継続して加入ができることなどの説明を行っている。

継続的な組織強化に向けた取り組みのお願い③

③ 臨床研修医の会費免除と、臨床研修修了後に医師会員の資格を継続してもらうための取り組み 1/2

【ご参考：都道府県医師会における好事例】

(「医師会組織強化検討委員会「医師会組織強化に向けた取り組み等について」のアンケート;令和3年度実施)

【入会時の取り組み】

- 新研修医を対象とした祝賀会の後に、役員が入会申込書の記入方法を説明しながら作成・提出してもらっている。この際、臨床研修病院から県医師会に「初期研修終了後の異動先情報を提供することについての承諾書」も提出してもらい、研修終了後の会員継続依頼等の連絡がスムーズに取れるような仕組みを作っている。

【会員期間中の取り組み】

- 会費減免期間中に、メーリングリストや会員専用ホームページで医師会の取り組みを積極的に広報し、医師会員であることの必要性を認識してもらうよう働きかける。

継続的な組織強化に向けた取り組みのお願い③

③ 臨床研修医の会費免除と、臨床研修修了後に医師会員の資格を継続してもらうための取り組み 2/2

【ご参考：都道府県医師会における好事例】

（「医師会組織強化検討委員会「医師会組織強化に向けた取り組み等について」のアンケート；令和3年度実施）

【臨床研修修了前後の取り組み】

- 臨床研修修了前に、臨床研修修了となる研修医のリストを県医師会から郡市医師会に送付し、研修医に会員区分を変更してもらうよう依頼している。
- 研修2年目の修了前に医師会継続の意向、異動状況の確認は行うようにしている。
- 臨床研修修了時に文書を発出し、会員継続のメリット（産業医等の制度取得ための優先的な受講や軽負担での医師国民健康保険への加入、医事紛争時のサポートなど）を伝え、B会員への移行を働きかけている。
- C会員終了後、会員継続依頼文書を送付する際に、日本医師会作成の「ドクターゼ（別冊）」や、県医師会作成の医師会入会メリット等を記載したチラシを同封している。

【その他】

- 専攻医も減免申請により会費無料化とした。（4月1日現在30歳以下。免除期間は、臨床研修期間であって3年以内など）
- 臨床研修修了後も研修医（所属長が研修医と認めた者）には、会費無料を継続している。
- 勤務医入会サポートデスクを創設した（入退会異動手続きの代行）。
- 病院で指導的立場にある医師に入会を勧めてもらうよう説得している。

本日の内容

Part1. 全国の都道府県医師会の入会率

Part2. 組織強化の必要性

Part3. 組織強化に向けた取り組み(依頼)

まとめ

参考. 日本医師会の主な会員サービス等

まとめ①

- 「全ての医師を代表する組織」としてのプレゼンスや発言力を高め、国民の生命と健康を守り、医師の医療活動を支えるという医師会の役割を果たしていたためにも、減少傾向にある**医師会の組織率を、上昇の方向に転じさせることが必要**である。
- そのため、**医学部卒後5年目までの会費減免期間の延長**について、管内郡市区等医師会も含め、特段のご協力をいただきたい。
- そして、今から、来年4月に向けて、**卒後2年目の臨床研修医の先生方に、3年目以降も医師会員として継続してもらうための準備を進めていただきたい。**
- 併せて、①**組織強化に取り組むための仕組みづくり**、②**三層すべての医師会への入会**と、開業医については廃業後も医師会員として残ってもらうための取り組み、③**会費減免と、会費減免終了後に医師会に残ってもらうための取り組み**について、ぜひご検討いただき、取り組みを進めていただきたい。

まとめ②

- 入会促進にあたっては、face to face の取り組みの重要性がアンケート等からも指摘されていることから、たとえば、病院に直接ご足労いただくなど、対話を通じた入会促進ということもぜひ考慮いただきたい。
- また、管内すべての郡市区等医師会会長（担当役員）及び事務局の出席のもとで、「**郡市区等医師会組織強化担当役職員連絡協議会**」を開催いただきたい。
- その際には、可能な限り日本医師会より担当役員が出席したいと考えておりますので、ぜひお声がけいただきたい。

本日の内容

Part1. 全国の都道府県医師会の入会率

Part2. 組織強化の必要性

Part3. 組織強化に向けた取り組み(依頼)

まとめ

参考. 日本医師会の主な会員サービス等



もしも医事紛争が起きてしまったら？

日本医師会医師賠償責任保険

近年では勤務医個人に対する訴訟も増えています。日本医師会医師賠償責任保険では、医療の専門家から構成される中立的な調査・審査機関が、賠償の有無や額を判断します。また、医師ができるだけ失態に立つことなく紛争を解決できるよう、訴訟・示談などの交渉を支援する仕組みも整っています。

- 専門の調査・審査機関がある
- 訴訟や示談などを支援
- 勤務先を問わず補償(日本国内)
- 退職・退会後もサポート

診療

医師だと証明することが必要なとき

日本医師会電子認証センター

医師資格証を活用することで、ネットワーク上で間違いなく医師本人だと証明することや、医師が作成する公的文書などに医師資格入り電子署名を付与することができます。

ICカードの医師資格証明発行

産業医として働くためには？

日本医師会認定産業医制度

従業員50人以上の事業場には、産業医を置くことが法律で定められています。その産業医になるための研修および認定を受けることができます。

厚労省が定める研修
勤務先の医師が地える

女性医師

女性医師が、仕事と育児・家庭を両立するために

日本医師会女性医師支援センター／日本医師会女性医師バンク

医学士が業生の3割以上が女性である現在、女性医師が活躍・育児と仕事を両立できるようにするには医療界全体の課題であり、女性医師にとっても重要な課題です。日本医師会は、女性医師の働きやすい環境づくり積極的に取り組んでいます。

- 女性医師支援センター
- 医学生や研修医への支援
- 勤務環境の整備に関する啓発活動
- 女性医師バンク
- コーディネーターが実情に合わせた職場を紹介
- 復職・再研修のサポート



20

安心できる老後のために

日本医師会年金

日本医師会年金は日本医師会が会員福祉の一環として昭和43年に発足させた、積立型の私的年金制度です。公的年金に上乗せする形で積み立てることができ、勤務先が変わっても継続できます。金利設定が比較的高いことも魅力のひとつです。

- 日本医師会会員のための私的年金
- 一生受け取れる年金
- 保険料の増減は自由
- 年金の支給開始を70歳まで延長可能



生活

研究・進学などで常勤ポストを離れたら

医師国民健康保険

医師とその家族・従業員のための健康保険で、保険料が比較的安く設定されています。

標準額が30万円
保険料が比較的安い

会員を支える4つの安心

日本医師会が用意している様々なサポート

日本医師会は、診療・生活・学習・女性医師の4つの側面から医師としてのあなたを支えます。

どこにいても大学図書館並みのサービスを

日本医師会医学図書館

約110,000冊の蔵書、約1,010タイトルの雑誌を利用できます。

- 蔵書数は大学図書館並み
- インターネットで検索
- 複写を全国各地に発送可能

学習

分野を問わず、最新の医学・医療を学び続けるために

日本医師会生涯教育制度

国民の生命と健康に深く関わる医師が、継続的な自己学習・研修を効果的に行えるように作られた制度です。勤務医や若手医師が専門分野以外の情報や知識に触れる機会としても活用していただけます。e-ラーニングや講習会など様々な形式で、学習機会が提供されています。

- 要件を満たすことで認定証発行
- 最新の情報に触れられる
- 専門家の共活機会も共有
- e-ラーニング受講可能
- 各地域で恒常的に開催



19

日本医師会医師賠償責任保険(再掲)

	日本医師会医賠償	民間保険
医療紛争の検証	各科専門の医師 、医療知識を持った弁護士等で組織する 審査会 が判断	保険会社が判断
紛争処理の方法	医師会が弁護士の手配を代行	医師本人が対応、もしくは保険会社が弁護士を手配
会員の退会及び死亡後の特例措置	<ul style="list-style-type: none"> 医師会を退会后、あるいは死亡後でもサポートが受けられる 適用期間は10年間 	<ul style="list-style-type: none"> 左記のようなサポートのためには別途保険契約を結ぶ必要がある(年17,000円程度) 適用期間は5年間
保険料	会費に含まれる保険料相当額(年間) 15,000円(研修医)～66,000円(開業医)	基本保険料(団体割引・年間) 40,664円程度(研修医)～91,488円程度(有床診療所院長)



- 医師本人に代わって、**医師会が弁護士を手配し、迅速・適正な紛争解決をサポート**します！
- 保険料も、**各学会や大学同窓会と比較して安価**です！



医師資格証ご利用シーン

身分証としての利用シーン

採用時の 医師資格確認



医師経歴等での採用時に、医師免許証の原本確認に代えて、医師資格証による確認が認められています。
「公認社会法人日本医師会が発行する医師資格証」が、医師の資格確認に使用されています。申請書に添付して提出してください。申請書に添付する医師資格証は、医師の資格確認にのみ使用されます。医師の資格確認に使用される医師資格証は、医師の資格確認にのみ使用されます。医師の資格確認に使用される医師資格証は、医師の資格確認にのみ使用されます。

緊急時の身分証



災害時緊急時に、医師資格証によって医師であることを示すことができます。日本医師会では、JMAT等、災害時における医療チーム派遣時にも医師資格証の携帯を推奨しています。

JAL DOCTOR 登録制度



JALグループ機内で急病人や急病人が発生し、医療援助が必要となった場合、登録いただいた医師の方へ客室乗務員が直接お声掛けをさせていただきます。この制度に申し込みの際、医師資格証が必要となります。
（登録および乗降の際は費用がかかります）

ITでの利用シーン

講習会受付



「医師資格向け出欠管理システム」が導入された医師会等での研修会では、医師資格証をICカードリーダーにかざすだけで発行を行うことができます。

ログイン認証



通常のID/パスワード等のアプレズを利用したログインの代わりに、医師資格証を利用したサービスへのログインが可能です。併用も可。電子認証センター提供のサービスでは医師資格証によるログイン認証を行っています。
＊ログイン認証は、「日本医師会電子認証サービス」にお申し込みがあるサービスで利用可能となります。

HPKI電子署名



電子化された医療情報文書に対して、HPKI電子署名を付与することができます。電子署名を付与することにより、電子文書の真正性と本人性が担保されます。また、HPKI電子署名は、診療情報伝送加算の要件の一つとなっております。

研修会受講履歴 単位管理



「全国医師会研修管理システム」を導入している都道府県で開催された研修会を受講した際に、出欠が確定された研修会に際しての受講履歴の閲覧や単位管理ができます。単位は、「医師資格証ポータル」のログイン後、該当のページ（タブ）よりご確認ください。

他社サービスの 利用



GRC/A管理機構が提供している「MEDPost(文書交換サービス)」などのログイン時に医師資格証を使用することができます。

医師資格証申請方法

申請書類一式郵送先 ▶ 日本医師会 電子認証センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16



申請書類

- 医師資格証発行申請書
ホームページからダウンロード出来ます。提出から5ヶ月以内の証明写真が必要です。
- 医師免許証コピー
（裏面がある場合、裏面コピーも必要です。）
- 住民票
発行から5ヶ月以内
- 身分証のコピー（「2」の「1」の「2」）
 - ・日本国旅券
 - ・運転免許証 もしくは 通知経歴証明書（平成24年4月1日以降発行のもの）
 - ・マイナンバーカード ※裏面のみの写し出しは不可
 - ・住民基本台帳カード
 - ・官公庁発行職員身分証明書

※医師資格証を申請される場合は、発行から5ヶ月以内の住民票の写しを必ず添付してください。

対面受取時の書類

※あらかじめ受取場所の医師会に電話確認をしてください。

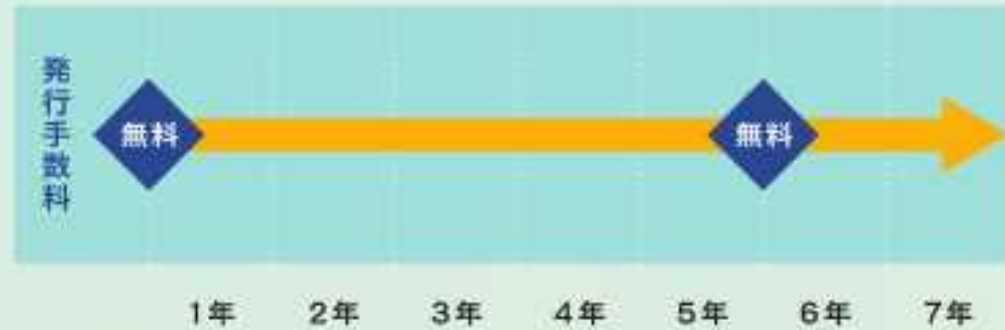
- 医師資格証発行完了通知(ハガキ)
申請時に記入した、連絡先住所にハガキが郵送されます。
- 身分証の提示（「2」の「1」の「2」）
 - ・日本国旅券
 - ・運転免許証 もしくは 通知経歴証明書（平成24年4月1日以降発行のもの）
 - ・マイナンバーカード ※裏面のみの写し出しは不可
 - ・住民基本台帳カード
 - ・官公庁発行職員身分証明書

医師資格証の費用

費用

日医会員

- ・初回発行手数料は無料です。
- ・5年経過後の医師資格証更新時の発行手数料も無料です。



日医非会員

- ・発行手数料5,500円。
- ・5年経過後の医師資格証更新時には発行手数料5,500円が必要です。



※費用はすべて税込みです。

※医師資格証 保有者数(2022年4月30日集計) : 21,341枚

日本医師会認定産業医制度

I. 目的

産業医の資質向上と地域保健活動の一環である産業医活動の推進を図るために、所定のカリキュラムに基づく**産業医学基礎研修50単位以上を修了した医師**、または、それと同等以上の研修を修了したと認められる医師に申請に基づき日本医師会認定産業医の称号を付与し、認定証を交付します。

また、この認定証は、**有効期間5年間に、産業医学生涯研修20単位以上を修了した医師について更新**ができます。

II. 基礎研修の内容（1時間の研修を1単位とします。）

①前期研修（14単位以上） 入門的な研修

総論（2単位）、健康管理（2単位）、メンタルヘルス対策（1単位）
健康保持増進（1単位）、作業環境管理（2単位）、作業管理（2単位）
有害業務管理（2単位）、産業医活動の実際（2単位）

※上記8項目の研修については、それぞれの単位の修得が必要です。

②実地研修（10単位以上）

主に職場巡視などの実地研修、作業環境測定実習などの実務的研修

③後期研修（26単位以上）

地域の特性を考慮した実務的・やや専門的・総括的な研修

日本医師会認定スポーツ医制度

I. 目的

日本医師会では、平成3年、地域社会における運動への関心の高まりから、運動を行う人に対して医学的診療のみならず、メディカルチェックや運動処方を行い、各種運動指導等に指導助言を行い得る医師を要請することを目的として、認定健康スポーツ医制度を発足した。

II. 概要

所定のカリキュラムに基づく健康スポーツ医学講習会(25科目)を修了した医師を日本医師会認定スポーツ医として認定している。

認定証更新のためには、有効期間の5年間に健康スポーツ医学再研修5単位以上を修了し、かつ健康スポーツ医としての実践活動を行う必要がある。

III. 実績

この制度では都道府県医師会が窓口となり、各種申請の受付等を行っている。令和2年5月末までに延べ23,990人の認定健康スポーツ医を養成している。

日医かかりつけ医機能研修制度

平成28年4月1日より実施

【目的】

今後のさらなる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するための研修を実施する。

【かかりつけ医機能】

1. 患者中心の医療の実践
2. 継続性を重視した医療の実践
3. チーム医療、多職種連携の実践
4. 社会的な保健・医療・介護・福祉活動の実践
5. 地域の特性に応じた医療の実践
6. 在宅医療の実践



* 日本医師会ホームページ「日医かかりつけ医機能研修制度」制度概要より作成
(http://dl.med.or.jp/dl-med/doctor/kakari/system20160317_1.pdf)

【研修内容】

基本研修

- ・日医生涯教育認定証の取得。

応用研修

- ・日医が行う中央研修、関連する他の研修会、および一定の要件を満たした都道府県医師会並びに郡市区医師会が主催する研修等の受講。

規定の座学研修を10単位以上取得

実地研修

- ・社会的な保健・医療・介護・福祉活動、在宅医療、地域連携活動等の実践。

規定の活動を2つ以上実施(10単位以上取得)

3年間で上記要件を満たした場合、都道府県医師会より
修了証書または認定証の発行(有効期間3年)。



日医かかりつけ医機能研修制度

現在の進捗状況(令和4年8月現在)

応用研修受講者数(延べ人数)合計: 53,523名

第1期

H28年度受講者: 9,391名
 (研修開催回数: 日医中央研修1回、22都道府県42回)
 H29年度受講者: 9,712名
 (研修開催回数: 日医中央研修1回、27都道府県47回)
 H30年度受講者: 10,609名
 (研修開催回数: 日医中央研修1回、31都道府県46回)

第1期 合計: 29,712名

第2期

R元年度受講者: 9,361名
 (研修開催回数: 日医中央研修1回、30都道府県53回)
 R2年度受講者: 6,571名
 (研修開催回数: 43都道府県138回 ※日医中央研修未開催)
 R3年度受講者: 6,296名
 (研修開催回数: 日医中央研修3回、26都道府県68回)

第2期 合計: 22,228名

第3期

R4年度受講者: 1,583名※
 ※8/7日医中央研修のWEB受講者数(座学会場受講者数は集計中)

第3期 合計: 1,583名

修了者数 認定期間有効実人数(R1年~R3年): 5,272名 累計: 11,191名

H28年度修了者: 1,196名 H29年度修了者: 2,672名 H30年度修了者: 2,051名

R1年度修了者: 2,501名 R2年度修了者: 1,547名 R3年度修了者: 1,224名

医師年金

予定利率

現在 **1.5%** ※
※ 2021年10月時点



制度加入者数

約 **40,000** 名



資産規模

運用資産
約 **5,000** 億円



- 積立型の医師専用の私的年金で、利率は現在**1.5%**です。
- 事務手数料が少額(**0.25%**)で効率的な積立ができます。
- 終身年金で**一生涯受取可能**です。



医師年金

医師年金の四つの特長

特長1

払い込んだ保険料と運用益を将来そのまま受け取れます。

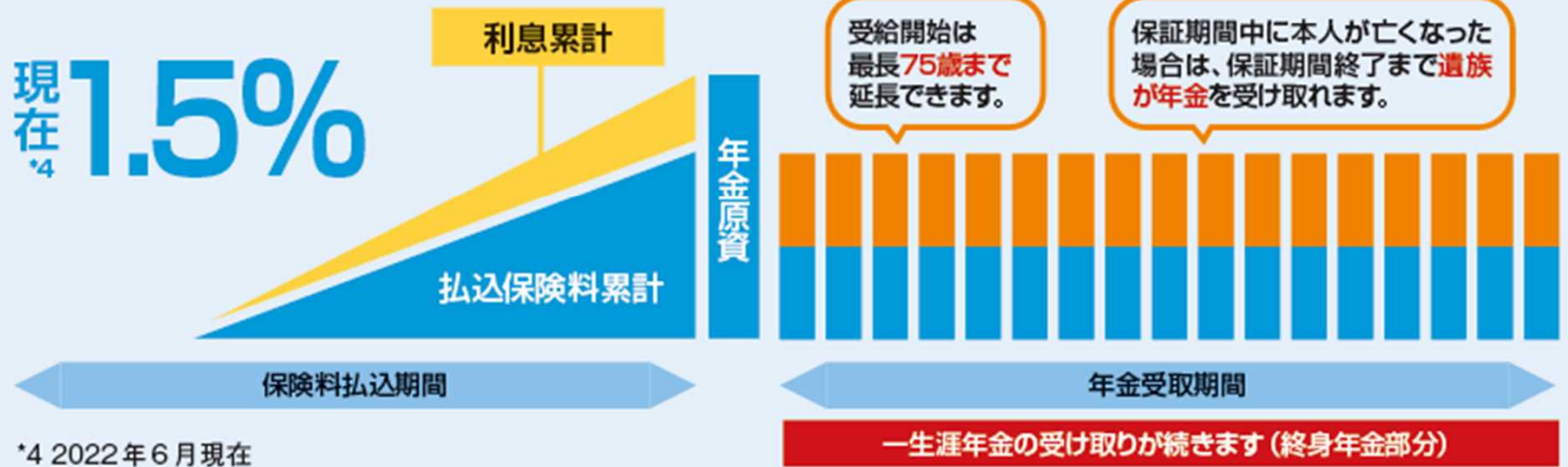


- 医師年金は、公的年金とは別の積立型の私的年金であるため、勤務先が変わっても継続して加入し続けることができます。
- また、公的年金は、基本的に現役世代が支払った保険料を高齢者の年金給付に充てるという考え方で運営されていますが、医師年金は自分で払い込んだ保険料がそのまま年金原資として運用され、将来自分に年金として給付されることとなります。

医師年金の四つの特長

特長2

銀行の定期預金等に比べて金利設定が高い点は、医師年金の大きな魅力です。年金は人生100年時代にふさわしく、一生受け取ることが可能です。万が一加入者本人が亡くなっても、遺族が年金を受け取れる保証期間があります。



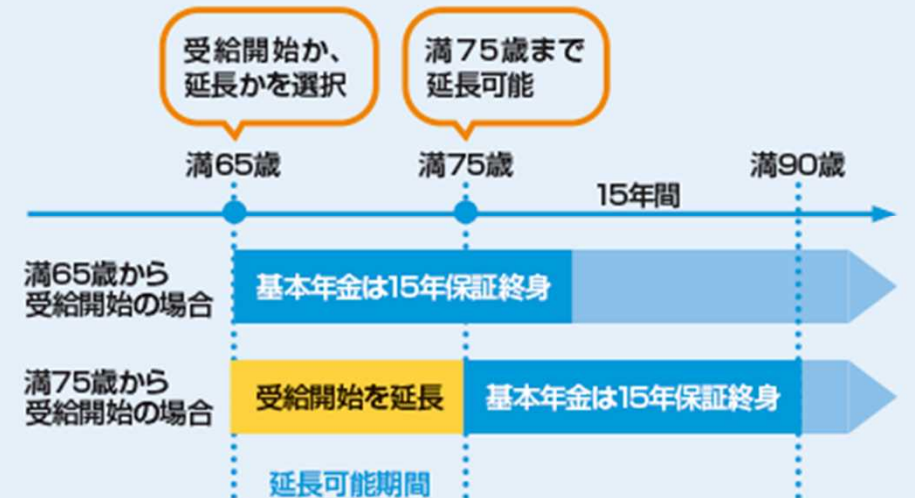
特長3

加算年金保険料は、経済状況に応じて、いつでも自由に増減できます(金額の上限なし)。



特長4

年金の受給開始時期を満75歳まで延長できます。



医師国民健康保険(医師国保)、医師協同組合、医師信用組合

医師国保とは？

医師とその家族が加入する自助的な保険です。医師が自ら運営し、保険料を決定したり、各種検診などの保健サービスを運営しているため、**医師にメリットの大きい健康保険**です。

医師協同組合とは？

組合員同士がお互いに助け合う『相互扶助』の精神で設立されたもの。

協同組織による事業展開の強みを活かして、良質かつ低廉な商品の購入、医業経営の安定、会員福祉の各種サービスの提供など、全国各地の医師、またその医療機関スタッフの多様なニーズに応えています。

(※全国に56組合及び5地区連合会／R3.2.4全医協連HP確認時)

医師信用組合とは？

医師の医師による医師のための金融機関。

医師会会員の先生方のための医療特化型専門金融機関として、先生方のライフプランに的確に対応できる金融サービスの提供を目指しております。

(※神奈川県医師信用組合ホームページより抜粋)
(※全国に19組合／R3.2.4確認時)

日本医師会生涯教育制度の概要

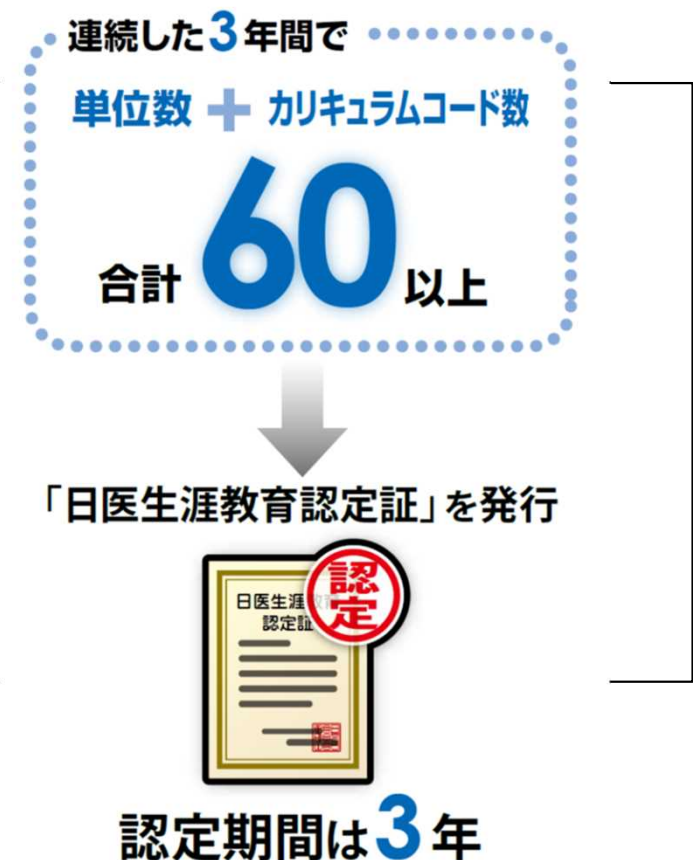
〈制度概要〉

本制度は、医師の研修意欲をさらに啓発・高揚させること、一方で社会に対して医師が勉強に励んでいる実態を示し、国民からの信頼を増すことを目的としており、**連続した3年間の単位数(30分で0.5単位)とカリキュラムコード数(同一コードは加算不可)の合計数が60以上の者に「日医生涯教育認定証」を発行**します。

〈単位・カリキュラムコードの取得方法〉

1. 日本医師会雑誌を利用した解答
2. 日本医師会e-ラーニングによる解答
3. 講習会・講演会・ワークショップ等
4. 医師国家試験問題作成
5. 臨床実習・臨床研修制度における指導
6. 体験学習(共同診療、病理解剖見学、症例検討、手術見学等の病診・診診連携の中での学習)
7. 医学学術論文・医学著書の執筆

※ 1・2は日医会員のみ。3～7は非会員も可。



JMA Journal

発行目的

臨床医学、基礎医学、公衆衛生学等、医学に関する全領域の研究論文だけでなく、医療政策やオピニオン等の投稿も幅広く受け付ける。世界中からの優れた研究結果を収載することで、グローバルで幅広い観点を持ち、国際社会で広く共有されるジャーナルに成長させていくことを目的とする。

発行形態

オンライン・ジャーナル

創刊

平成30年9月

発行頻度

年4回(予定)

2018年 創刊

日本医師会・日本医学会発行英文誌

JMA JOURNAL

論文投稿受付中!

OPEN ACCESS

【JMA Journalの特徴】

- 医学総合ジャーナルとして、医学に関する全領域の研究論文だけでなく、医療政策やオピニオン等の論文も幅広く掲載
- 世界中から投稿を募集し、グローバルで幅広い観点を持ち、国際社会で広く共有されるジャーナルを目指す
- オンライン・オープン・アクセス

日本医師会医学賞 日本医師会医学研究奨励賞

日本医師会医学賞

(対象)

毎年、日本医師会会員で、医学上重要な功績をあげたものの4名

(副賞)

500万円

日本医師会医学研究奨励賞

(対象)

毎年、日本医師会会員で、医学上将来性に富む研究を行っているものの15名

(副賞)

150万円

2022年度

「日本医師会医学賞」ならびに 「日本医師会医学研究奨励賞」 候補の推薦について

本会では、「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究奨励賞」を本会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会において選考のうえ、授与いたしております。

医学賞は4名、奨励賞は15名に授与いたします。

今年度も下記要項により両賞候補を募集することになりましたので、下記のとおりご推薦くださいますようお願い申し上げます。

日本医師会医学賞

- 要項**
1. 日本医師会医学賞(Medical Award of The Japan Medical Association)は、**日本医師会会員で、医学上重要な業績をあげたもの**に授与する。
 2. 本賞は、毎年1回、基礎医学・社会医学・臨床医学(内科系)、臨床医学(外科系)の各部門を通じ**計4名**に授与する(なお、本年度は副賞として**1名500万円**を授与する)。
 3. 日本医学会分科会長・大学院医学系研究科長または大学医学部長・医科大学長、大学附属病院長(本院)、関係機関長、都道府県医師会長に**各部門それぞれ1名以内の推薦を依頼**する。

日本医師会医学研究奨励賞

- 要項**
1. 日本医師会医学研究奨励賞(Medical Research Encouragement Prize of The Japan Medical Association)は、**日本医師会会員で、医学上将来性に富む研究を行っているもの**に授与する。
 2. 本賞は、毎年1回、基礎医学・社会医学・臨床医学(内科系)、臨床医学(外科系)の各部門を通じ**計15名**に授与する(なお、本年度は副賞として**1名150万円**を授与する)。
 3. 日本医学会分科会長・大学院医学系研究科長または大学医学部長・医科大学長、大学附属病院長(本院)、関係機関長、都道府県医師会長に**各部門それぞれ1名以内の推薦を依頼**する。

受付期間 2022年**5月15日(日)～7月1日(金)**(本会必着)

推薦書送付先 〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16 日本医師会生涯教育課 宛
※封筒のオモテに「医学賞」もしくは「奨励賞」推薦書類在中と朱筆してください。
〔担当：生涯教育課 Tel.03-3946-2121(代表) 内線：4260, 3241〕

詳細は日本医師会のホームページ[<https://www.med.or.jp/>]をご覧ください

注意事項

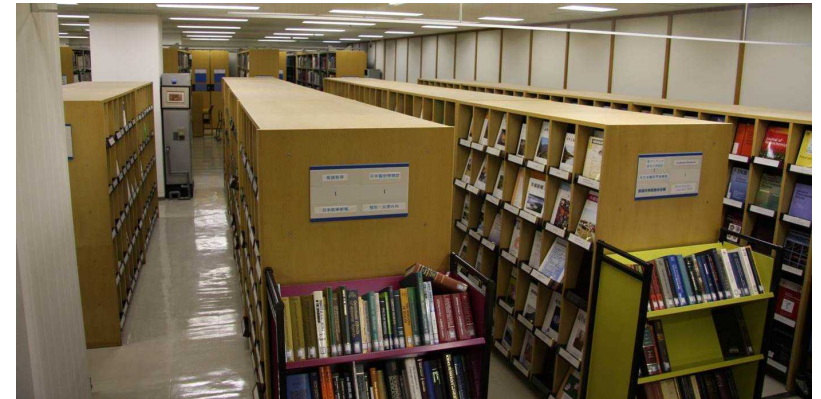
1. 被推薦者は日本医師会会員であることが条件です。所属医師会を必ずご記入ください。推薦時において被推薦者が非会員である場合は、推薦後、速やかにご入会の手続きをしてください。
2. 日本医師会医学研究奨励賞の被推薦者は、受付締切日の2022年7月1日(金)時点において45歳未満である方といたします(やむを得ず45歳を超える場合は、その理由をご記載ください)。
3. 受付期間：**2022年5月15日(日)～7月1日(金)**(本会必着)です。
4. 用紙は、医学賞が4枚、医学研究奨励賞が3枚あります。
※申請書類は、**日本医師会のホームページ**[<https://www.med.or.jp/>]からダウンロードください。
5. 推薦者は、日本医学会分科会長・大学院医学系研究科長または大学医学部長・医科大学長、大学附属病院長(本院)、関係機関長、都道府県医師会会長に限りです。
6. 医学賞受賞論文は「日本医師会雑誌」および日本医師会ホームページの「日医雑誌 on-line」に掲載いたします。
7. 医学賞受賞者にはご講演をお願いしています(本年度はWEB配信を予定)。
8. 医学賞受賞論文は併せて「JMA Journal」への投稿を条件といたします。
9. 医学研究奨励賞の受賞者には、対象となった研究あるいはその関連テーマ(論文の種類は自由)について、「JMA Journal」への投稿をご依頼いたします。※なお、査読は通常どおり行われます。

日本医師会

医学図書館(日医会館地下1階)と日医Lib

約990タイトルの雑誌を含め、約11万点の雑誌・単行本を揃えているほか、全国の医学図書館や大学附属図書館、国立国会図書館、海外の図書館とも連携してサービスの充実を図っており、多くの会員の利用に応えています。

- ◆「文献複写」「文献調査」「利用紹介状による他館利用」「図書貸出」などの各種サービスを提供している。



日医Lib
日本医師会 e-Library

<http://jmalib.med.or.jp/>

日本医師会が発行する冊子が、タブレット・スマートフォンでお読みいただけます。



～女性医師のための就業・復職(再研修)支援～



日本医師会女性医師バンク

結婚・出産・育児・介護・・・

女性医師は様々なライフイベントによって働き方に変化が生じます。

日本医師会では「女性医師バンク」(無料の職業紹介事業所)の運営を行っており、女性医師が無理なく就業を継続するための相談窓口や就業・復職(再研修)のサポートを実施しています。

<相談事例>

産休後、育児をしながら無理なく勤務できる就業先を探しています。(産婦人科医、30代)

医師不足だった公的病院をご紹介し、週3回から勤務を始めました。これによって、休診中だった産婦人科外来が再開しました。その後、子どもの成長とともに外来から病棟へと勤務を広げ、常勤医として現在に至っています。

夫の転勤にともなって他県に転居。幼児がいるため、院内保育所のある施設での就業を希望します。(整形外科、30代)

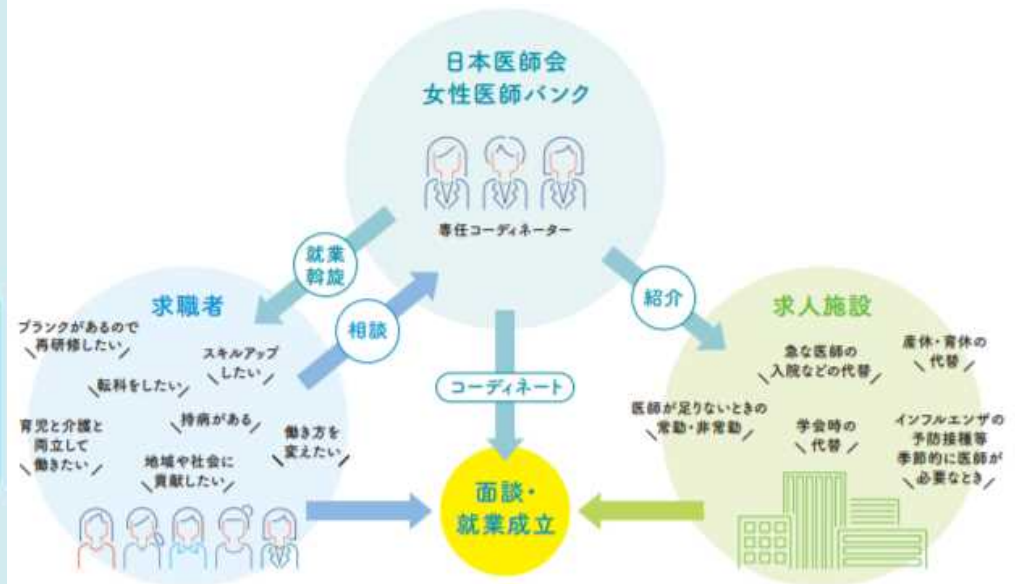
県内の大学病院の整形外科に照会し、保育所のある関連病院の整形外科に週1回からの勤務が決定しました。慣れてきたところで週2回に増やし、外来や入院、手術を経験されました。第二子の妊娠・出産のため退職されましたが、様子を見て再登録を希望されています。

夫の海外留学に伴い、7年間のブランクがあります。(内科、30代)

お子さんが小学校低学年と幼稚園ということもあって、居住地近くの私立病院を紹介し、就業が決定しました。同僚の女性医師との関係も良好で、ご本人からは「働きやすい」との感謝の言葉をいただきました。

●費用はすべて無料!

●専任コーディネーターがきめ細かくサポート!



まずはお気軽にご相談ください!

03-3942-6512

(平日10:00～17:00)



詳しくはWebサイトをご覧ください。

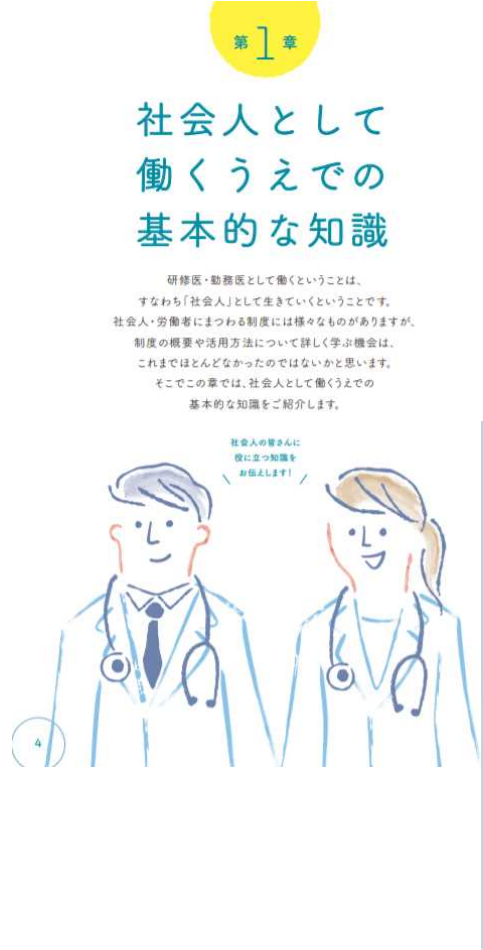
日本医師会女性医師バンク で検索

または、QRコードを読み込み、アクセスしてください。



「医師の多様な働き方を支えるハンドブック」

女性医師支援センターでは、『医師の多様な働き方を支えるハンドブック』を制作・配布しております。このハンドブックは、医師が社会人として働く上での基礎知識や出産・育児に関して直面する課題、それを支える制度など必要な情報を掲載しており、医学生、研修医など若手医師をはじめ多くの医師にご活用頂ける内容となっています。



- 1-1 労働者を守る制度・仕組み 6
- 1-2 自身の労働条件をきちんと把握しましょう 8
- 1-3 労働時間・時間外労働のルール 10
- 1-4 休日・休暇のルール 12
- 1-5 出産・育児・介護を支える仕組み 14
- 1-6 給与明細を見てみましょう 16



詳細は女性医師支援センターHP (<https://www.med.or.jp/joseiishi/>) をご覧ください。

ホテル ON LINE 予約サービス

24のホテル及びホテルチェーン(全国520超)の協力を得て、宿泊特別割引制度を実施。

- ホテルオークラ東京
- オークラニッコーホテルズ
- 帝国ホテル
- 東急ホテルズ
- 東京ドームホテル
- ニューオータニホテルズ
- ハイアットリージェンシー東京
- パレスホテルグループ
- フォーシーズンズホテル
- 山の上ホテル
- リーガロイヤルホテル東京
- ルートインホテルズ
- ワシントンホテルチェーン
- プリンスホテル
- 阪急阪神第一ホテルグループ
- 庭のホテル
- 赤沢迎賓館 等



ホテルオークラ東京

日本ならではのおもてなしを表現したメインロビーは、時を越えて輝きを放つ「和の伝統美」の結晶。確かな品位と新しいスタイルが絶妙に交差した、安らぎに満ちたひとときをお過ごしいただけます。

[詳細を見る](#)



オークラ ニッコー ホテルズ (旧 JAL ホテルズ)

オークラ ニッコー ホテルズでは、「オークラ ホテルズ&リゾーツ」「ニッコー・ホテルズ・インターナショナル」「ホテル JALシティ」3つのブランドにて、国内48ホテル、海外26ホテルを展開しております。

[詳細を見る](#)



帝国ホテル (東京・大阪)

1890年、迎賓館の役割を担って誕生した帝国ホテル。120年間受け継がれてきたおもてなしの心で最高のサービスをお届けいたします。日本医師会の皆様のご利用を心よりお待ちしております。

[詳細を見る](#)



東急ホテルズ

全国に広がる東急ホテルズではビジネス、レジャーなど様々なニーズに合わせたラインナップでご利用をお待ちしております。

[詳細を見る](#)



東京ドームホテル

地上43階、超高層の東京ドームホテルは、1006室の客室と8のレストラン&ラウンジ、18の宴会場を備え、ご婚礼、レパシオンなどお集まりのひとときを印象深く演出します。

[詳細を見る](#)



ニューオータニホテルズ

高級都市型ホテルからリゾートホテルまで国内外で展開しているニューオータニホテルズ。和を基調とした変わらぬおもてなしの心で、皆さまをお迎えいたします。

[詳細を見る](#)



ハイアットリージェンシー東京

日本初のハイアットホテルとして1980年に開業したハイアットリージェンシー東京は、伝統に培われた確かなサービスと常に新鮮な感覚を持ったホテルとして、皆さまをお迎えしております。

[詳細を見る](#)



パレスホテルグループ

都内でも数少ないリビコニー付のお部屋「パレスホテル東京」(丸の内)をはじめ、2020年7月15日(水)開業 新ブランドホテル「Zentis Osaka」他「九段下」「立川」「大宮」の各地域で、皆様のお越しをお待ちしております。

[詳細を見る](#)

入会案内冊子『ドクターゼ別冊』の発行

(1) 発行の経緯

医師会組織強化検討委員会が取りまとめた報告書のなかに、日本医師会に期待する医師会組織強化に向けた今後の施策の一つとして、「（若手医師を対象にした）医師会入会メリット等紹介ツールの作成」に係る提言があった。これを受け、医学生向け無料情報誌『ドクターゼ』の別冊という形で、医師会入会の意義やメリット等を紹介するパンフレットを作成した。

(2) 主な活用のシーン

臨床研修医や若手医師を対象にしたオリエンテーション等の場面で広く利用していただきたい。

(3) 主な内容


- ・マンガで読む あなたと医師会
- ・会員を支える4つの安心（次頁）
- ・TOPIC（5つの視点からメリット等を紹介）
- ・医師会に入った先輩の体験談
- ・医師会に入会するには？



ご清聴ありがとうございました。

いい いりょう
11月1日を
「いい医療の日」に

日医では、11月1日を「いい医療の日」と定め、より良い医療の構築に向けて、国民の皆さんと考える日とすることを提案しています。

 **日本医師会**
Japan Medical Association


記念日登録証

公益社団法人 日本医師会 殿

名称 いい医療の日

日付 11月1日

上記の記念日を正式登録する

2017年6月14日 
一般社団法人 日本記念日協会
代表理事 加藤清志

日本記念日協会に
認定されました！

*<http://www.kinenbi.gr.jp/>

11月1日は
「いい医療の日」



公益社団法人日本医師会創立70周年
「いい医療の日」制定記念切手